

2023年2月新聞書評に掲載された本



わたしたち

パロマ・バルディビア 著

岩崎書店

かけがえのない「わたしたち」の関係は、たとえ時が過ぎ、現実から遠く離れても、変わりゆくものを取りこえ、いつまでも変わらぬ愛でありつづける。チリの国民的絵本作家がおくる、親子の歩み、強いつながりを描いた物語。

産経新聞 2023/02/02

2021:9./ 1冊(ページ付なし)

978-4-265-85182-9

¥1,540〔税込〕



イコトラベリング 1948-

角野 栄子/今日 マチ子 著

KADOKAWA

戦後激動の日本。中2のイコは英語の授業で、現在進行形に夢中になる。そして、いつか「どこかへひとりで行きたい」と強く願うようになるが、手段も理由も見つからない。しかしある日、大きなチャンスが…。自叙伝的物語。

産経新聞 2023/02/04

2022:9./ 299p

978-4-04-107211-0

¥1,650〔税込〕



偽りだらけ歴史の闇～歴史の真実とは何か～

佐藤 洋二郎 著

ワック

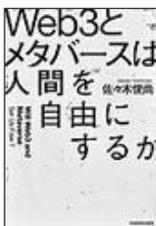
神様の名前になぜ「命」と「尊」があるのか。アメリカは戦後の日本に何をしたのか。なぜ帰化人を「渡来人」と言い換えるのか…。神社や離島を歩いて愉しむ著者が、自身の歴史観を物語ふう書き綴る。

産経新聞 2023/02/04

2023:1./ 253p

978-4-89831-967-3

¥1,540〔税込〕



Web3 とメタバースは人間を自由にできるか

佐々木 俊尚 著

KADOKAWA

「安楽な暮らし」か「支配されない自由」か？ ウェブ3はビッグテックの「支配」を終わらせることができるのか？ 自動運転車の「第4の居場所」化とは？ 技術進化が暮らしに与える影響をわかり易く解説する。

産経新聞 2023/02/05

2022:12./ 243p

978-4-04-605572-9

¥1,650〔税込〕



- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2023年2月時点での税込み価格です。



教誨

袖月 裕子 著
小学館

遠縁の死刑囚・響子の身柄引受人に指名された香純と母は、刑の執行後、遺骨を受け取った。香純は、「約束は守ったよ、褒めて」という響子の最期の言葉の真意を探り始め…。『STORY BOX』連載を改題、大幅に加筆改稿。

産経新聞 2023/02/05

2022:11./ 317p
978-4-09-386664-4

¥1,760〔税込〕



合田佐和子 帰る途もつもりもない

青幻舎

オブジェや絵画、写真といったメディアを横断しながら創作を展開し、孤高の探究を続けた合田佐和子の没後初の回顧作品集。2022年～2023年に高知県立美術館、三鷹市美術ギャラリーで開催の展覧会図録。

産経新聞 2023/02/05

2022:11./ 276p
978-4-86152-906-1

¥2,970〔税込〕



恐怖の美学～なぜ人はゾクゾクしたいのか～(TH SERIES ADVANCED)

樋口 ヒロユキ 著
書苑新社

私たちは何を恐れ、なぜ怖がるのか。妖怪、UFO、心霊写真、美術、漫画、小説、映画...多様な書物、文化を縦横に読み解き、恐怖とは何かを考える。『トーキングヘッズ叢書』他掲載に書き下ろしを加え書籍化。

産経新聞 2023/02/05

2022:12./ 311p
978-4-88375-482-3

¥2,750〔税込〕



しごとへの道<1> パン職人 新幹線運転士 研究者

鈴木のりたけ 著
ブロンズ新社

迷って、悩んで、失敗して、自分のしごとをみつけるまでを、コマ割りのコミック仕立てで描いたリアルヒストリー。人生を変える言葉や人との出会いを、子ども時代から描く。1は、パン職人、新幹線運転士、研究者を収録。

産経新聞 2023/02/05

2023:1./ 190p
978-4-89309-714-9

¥1,430〔税込〕



グレイスレス

鈴木 涼美 著
文藝春秋

ポルノ女優たちに化粧を施す仕事をしている「私」は、森の中に佇む邸宅で、祖母と静かに暮らす。アダルトビデオ業界に生きる女の倫理観とは…。『性と生』のあわいを繊細に描く。『文學界』掲載を書籍化。

産経新聞 2023/02/11

2023:1./ 122p
978-4-16-391654-5

¥1,760〔税込〕





サンドワーム～ロシア最恐のハッカー部隊～(角川新書 K-409)

アンディ・グリーンバーク 著

KADOKAWA

2014年に勃発したウクライナとロシアの紛争。その後ウクライナへのサイバー攻撃が始まった。ロシアのハッカー集団サンドワームの脅威とそれを食い止めようとしてきた研究者達の仕事を辿り、ウクライナ戦争前の攻防に迫る。

2023:1./ 477p
978-4-04-082446-8

¥1,870〔税込〕



産経新聞 2023/02/12



一睡の夢～家康と淀殿～

伊東 潤 著

幻冬舎

「大坂の陣」の数年前。いまだ盤石でない徳川幕府を案じる家康。一方、豊臣家の威信凋落を肌身で感じる淀殿は、焦燥感を募らせていた。2人は雌雄を決する最期の戦いに活路を開こうとするが…。『小説幻冬』連載に加筆修正。

2022:12./ 480p
978-4-344-04061-8

¥2,090〔税込〕



産経新聞 2023/02/12



ワグネル プーチンの秘密軍隊

マラート・ガビドゥリン 著

東京堂出版

クレムリンの意を受け、世界各地で軍事工作を行っているとされているロシアの民間軍事会社ワグネル。その契約戦闘員として、ウクライナやシリアなどで実戦を潜り抜けてきた元指揮官が綴った手記。

2023:1./ 309p
978-4-490-21078-1

¥3,520〔税込〕



産経新聞 2023/02/12



ヴォロディミル・ゼレンスキー～喜劇役者から司令官になった男～

ギャラガー・フェンウィック 著

作品社

なぜ「危機」に立ち向かえるのか？膨大なインタビューと現地取材によりゼレンスキー大統領の半生をさぐり、その人物像を明らかにする。ロシアによる侵攻の背景も広範に解説。

2022:12./ 243p
978-4-86182-952-9

¥1,980〔税込〕



産経新聞 2023/02/12



ザ・パターン・シーカー～自閉症がいかに人類の発明を促したか～

サイモン・バロン＝コーエン 著

化学同人

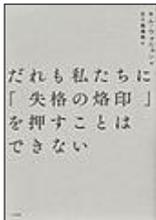
人間だけが発明できるのは if-and-then のパターンを識別できるからであり、この特性はしばしば自閉症と結び付けられる。人類初の楽器からデジタル革命まで、その特性がいかに人類の進歩を促してきたかを解明する。

2022:11./ 5p,312p
978-4-7598-2089-8

¥2,640〔税込〕



産経新聞 2023/02/18



だれも私たちに「失格の烙印」を押すことはできない

キム・ウォニョン 著
小学館

障害を抱えた子どもが、生まれてこない方がよかったという考えのもと、親が子どもを代理して、医師に対して損害賠償を請求する「不当な生」訴訟。障害者である自身の経験を交え、「不当な生」という概念を語り尽くす。

産経新聞 2023/02/19

2022:12./ 335p
978-4-09-388854-7

¥1,980〔税込〕



世界遺産都市ドゥブロヴニクを読み解く～戦火と守護聖人～

武田 尚子 著
勁草書房

ユーゴ紛争の激戦地となったドゥブロヴニク(現クロアチア共和国)は、いかにして「復活」を遂げたのか。都市社会学の視点からその歴史の変遷をたどり、現代社会に通底する「都市と戦争」の関係を紐解く。

産経新聞 2023/02/19

2022:11./ 9p,215p,13p
978-4-326-24853-7

¥2,970〔税込〕



青春 20世紀美術講座～激動の世界史が生んだ冒険をめぐる15のレッスン～

新見隆 著
東京美術

芸術の根源には、「恐怖」があり、「病」が原点。それを芸術家たちがどう受け入れ、乗り越えたか。「アーツ・アンド・クラフツ運動」「キュビズム」「シュルレアリズム」などをテーマに20世紀美術を軽快に論じる。

産経新聞 2023/02/19

2022:11./ 225p,14p
978-4-8087-1236-5

¥2,530〔税込〕



社長たちの映画史～映画に賭けた経営者の攻防と興亡～

中川 右介 著
日本実業出版社

乗っ取り、引き抜き、分裂、独立。スクリーン外のバトルは、映画を観るより面白い! 戦後復興とともに「娯楽の王様」となり、1950年代に全盛期・黄金時代を迎えた映画会社の攻防と興亡を、社長たちを主人公に描く。

産経新聞 2023/02/25

2023:1./ 541p
978-4-534-05978-9

¥2,420〔税込〕



真珠とダイヤモンド<上>

桐野 夏生 著
毎日新聞出版

1986年春。福岡の証券会社で出会った佳那と水矢子は、それぞれ2年後に東京に出ていく夢を温めていた。佳那は、同期の望月と結託してマネーゲームの渦に身を投じていき…。『サンデー毎日』連載を大幅に加筆修正。

産経新聞 2023/02/25、朝日新聞 2023/02/25

2023:2./ 365p
978-4-620-10860-5

¥1,760〔税込〕





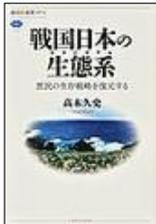
真珠とダイヤモンド<下>

桐野 夏生 著
毎日新聞出版

バブル全盛時代、望月と結婚した佳那は、ヤクザの山鼻の愛人・美蘭のてほどきで贅沢な暮らしに染まっていく。一方水矢子は、不首尾に終わった受験から流転の生活がスタートし…。『サンデー毎日』連載を大幅に加筆修正。

産経新聞 2023/02/25、朝日新聞 2023/02/25

2023:2./ 282p
978-4-620-10861-2
¥1,650〔税込〕



戦国日本の生態系～庶民の生存戦略を復元する～(講談社選書メチエ 777)

高木 久史 著
講談社

寒冷化を迎えた戦国時代、庶民はいかにサバイバルし、時代を動かしたのか。海・山・里の動植物が織りなす生態系と、そこから恵みを得て生活を営む人々の社会システムをひとつの系としてとらえ、戦国の動因を描き出す。

産経新聞 2023/02/26

2023:1./ 293p
978-4-06-530681-9
¥2,200〔税込〕



人類精神史～宗教・資本主義・Google～(筑摩選書 0243)

山田 仁史 著
筑摩書房

Gott(神)、Geld(お金)、Google(情報)。3つの「カミ」と、対応する3つのリアリティから、人類の精神のあゆみを考える。危機の時代に生きる人びとに向けた、博覧強記の宗教民族学者による最後の書。

産経新聞 2023/02/26

2022:12./ 314p
978-4-480-01761-1
¥1,980〔税込〕



災間に生かされて

赤坂 憲雄 著
亜紀書房

巨大な災害のあとに、たまたま生き残った人々はどんな思いを抱えて、どのように生きてゆくのか。不条理に底知れぬさみしさを抱き、それでもなお生きるための思考を語る。

産経新聞 2023/02/26

2023:1./ 238p
978-4-7505-1772-8
¥2,090〔税込〕



メテオ～詩人が育てた動物の話～

志村 ふくみ 著
求龍堂

いままさに天に召されようとしている若い詩人。庭を松葉で埋めつくしてお式の準備をする庭師と息子たち。ターバンを巻いた老人が「今夜、メテオがあの方を迎えにみえる」と告げた。やがて、庭はいちめん銀色の海になり…。

産経新聞 2023/02/26

2023:2./ 31p
978-4-7630-2218-9
¥2,750〔税込〕





完本私の昭和史～二・二六事件異聞～

末松太平 著
中央公論新社

二・二六事件をはじめ昭和維新運動の機動力とされる「青年将校グループ」の中心人物であった著者が、体験したことのみを客観的に綴った記録。関連文書や三島由紀夫、橋川文三の書評などを増補した決定版。

産経新聞 2023/02/26、読売新聞 2023/02/26

2023:1./ 573p
978-4-12-005618-5

¥3,960〔税込〕



日本美の再発見 増補改訳版(岩波新書 赤版 R-10)

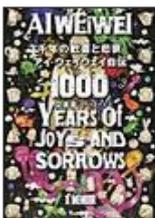
ブルーノ・タウト 著
岩波書店

桂離宮をはじめ、伊勢神宮、飛騨白川の農家および秋田の民家などの美は、ドイツの建築家タウトによって「再発見」された。彼は、ナチスを逃れて滞在した日本で、はからずもそれらの日本建築に「最大の単純の中の最大の芸術」の典型を見いだしたのであった。日本建築に接して驚嘆し、それを通して日本文化の深奥に遊んだ魂の記録。

朝日新聞 2023/02/04

1962:2./ 188p
978-4-00-400010-5

¥836〔税込〕



千年の歓喜と悲哀～アイ・ウェイウェイ自伝～

艾未未 著
KADOKAWA

文化大革命により追放された詩人の父と息子。時を経て中国を代表する現代美術家になった息子は、次々とアートを生み出しては当局に物議を醸し…。闘う2人の芸術家を通し、激変する中国の現代史を描いた自伝。

朝日新聞 2023/02/04

2022:12./ 381p 図版
16p
978-4-04-111963-1

¥2,970〔税込〕



僕らには僕らの言葉がある

詠里 著
KADOKAWA

聴者のキャッチャー・野中と、ろう者のピッチャー・真白。二人の出会いは、お互いの世界を変えていく。ボーイ・ミーツ・ボーイから始まる青春ストーリーを漫画で描く。日本手話や、ろう者への理解を深める解説も収録。

朝日新聞 2023/02/04

2022:11./ 206p
978-4-04-605800-3

¥1,320〔税込〕



この世の喜びよ

井戸川 射子 著
講談社

幼い娘たちとよく一緒に過ごしたショッピングセンター。喪服売り場で働く“あなた”は、フードコートで常連の少女と知り合い…。表題作など全3編を収録した小説集。『群像』掲載等を単行本化。

朝日新聞 2023/02/04

2022:11./ 135p
978-4-06-529683-7

¥1,650〔税込〕





はまると深い!数学クイズ～直感力・思考力を磨く～(ブルーバックス B-2222)

横山 明日希 著

講談社

ユークリッド、オイラー、フィボナッチ…。日常のなかの数学から歴史的難問まで、古今東西さまざまな数学者の発見や工夫を体感できるクイズを掲載する。ブルーバックスのWEBでの連載をもとにクイズ形式にして書籍化。

朝日新聞 2023/02/04

2023:1./ 267p
978-4-06-530730-4

¥1,100〔税込〕



トイレでハッピーになる 366 の言葉～10代のきみにエールを!～

ひきたよしあき 著

主婦の友社

毎日30秒で元気をチャージ!自分を励まし、ねぎらい、知恵と勇気を与えてくれる言葉を楽しいイラストとともに紹介。1年366日の出来事やその日に生まれた人の名言・エピソード、行事や習慣などを収録する。

朝日新聞 2023/02/04

2022:12./ 1冊(ページ付なし)

978-4-07-438498-3

¥1,980〔税込〕



遠の眠りの(集英社文庫 た 95-2)

谷崎 由依 著

集英社

女工として働く絵子は、百貨店の支配人と知り合う。百貨店には専属の「少女歌劇団」があり、絵子は「お話係」として雇ってもらうことに。看板女優・キヨと仲良くなるが、実はキヨは“少年”で。

朝日新聞 2023/02/04

2023:1./ 332p
978-4-08-744478-0

¥803〔税込〕



お墓、どうしてます?～キミコの巣ごもりぐるぐる日記～

北大路 公子 著

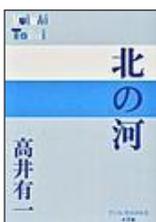
集英社

父の急逝から1年半。骨壺は神棚の上に置かれたまま。いよいよお墓を買うべきか悩むキミコさんのもとに、コロナ禍が到来し…。つれづれ北海道日記。『小説すばる』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2023/02/04

2022:11./ 219p
978-4-08-771817-1

¥1,650〔税込〕



北の河(P+D BOOKS)

高井 有一 著

小学館

昭和20年、すでに夫を喪い、家も戦火に焼かれてしまった母子が、遠縁を頼って東北の寒村に身を寄せる。だが、迫りくる厳しい冬を前に、母は自ら死を選ぶ…。第54回芥川賞に輝いた表題作のほか、全4篇を収録する。

朝日新聞 2023/02/04

2020:6./ 219p
978-4-09-352392-9

¥550〔税込〕





香港少年燃ゆ

西谷 格 著
小学館

香港デモの現場で出会った15歳の少年・ハオロン。過激なデモに参加し、母親とは不仲の少年は、普段は釣りをするだけの怠惰な日々を過ごしていた。少年の目線を通して激動の香港社会を見つめたルポルタージュ。

朝日新聞 2023/02/04

2022:12./ 317p
978-4-09-388890-5

¥1,980〔税込〕



大ピンチずかん

鈴木 のりたけ 著
小学館

ガムを飲んだ! トイレの紙がない!? こどもが出あう世の中の様々な「大ピンチ」を、大ピンチレベルの大きさと、5段階のなりやすさで分類。レベルの小さいものから順番に掲載し、その対処法をユーモアたっぷりに紹介する。

朝日新聞 2023/02/04

2022:2./ 47p
978-4-09-725138-5

¥1,650〔税込〕



ウイルスとは何か～生物か無生物か、進化から捉える本当の姿～(中公新書 2736)

長谷川政美 著
中央公論新社

ウイルスはどこから来たのか。細菌とどう違うのか。なぜ生物ではないとされるのか。生物でないとすれば一体何なのか…。進化生物学の最前線から、その正体に迫る。『Web 科学バー』連載を加筆修正して書籍化。

朝日新聞 2023/02/04

2023:1./ 3p,266p
978-4-12-102736-8

¥990〔税込〕



邂逅の森(文春文庫)

熊谷 達也 著
文芸春秋

秋田の貧農の家に生まれた富治。マタギとなり獣を狩る喜びを知るが、地主の一人娘と恋に落ち、村を追われる。直木賞の感動巨篇!

朝日新聞 2023/02/04

2006:12./ 544p
978-4-16-772401-6

¥902〔税込〕



グランドシャトー(文春文庫 た 95-3)

高殿 円 著
文芸春秋

高度経済成長期、名門キャバレー「グランドシャトー」のNo.1ホステス真珠と、姉妹のように仲睦まじく暮らすルー。だが、莫大な金を稼ぎながら下町の長屋に居続ける真珠をルーは不審に思い、過去を探るが…。

朝日新聞 2023/02/04

2023:1./ 351p
978-4-16-791986-3

¥880〔税込〕





天明の密偵～小説・菅江真澄～(PHP 文芸文庫 な 2-1)

中津 文彦 著
P H P 研究所

日本民俗学の先駆者として知られ、各地の風俗・民俗などを日記体で詳細に書き残した菅江真澄。激動の江戸中期の史実を踏まえながら、立身出世を願うも叶わず、生涯を旅に生きざるを得なかった男の秘密にせまる歴史小説。

朝日新聞 2023/02/04

2013:5./ 429p
978-4-569-67991-4

¥880〔税込〕



片をつける(ポプラ文庫 お 19-1)

越智 月子 著
ポプラ社

まもなく 40 歳になる阿紗は、隣の部屋に住む老婆・八重を助けたことがきっかけで、彼女の部屋の片づけを手伝うことになる。片づけを進める中で、明らかになる八重の過去。そして阿紗も幼少期の記憶が蘇ってきて-

朝日新聞 2023/02/04

2023:1./ 239p
978-4-591-17613-9

¥770〔税込〕



目で覚える動きの美術解剖学

ロベルト・オスティ 著
パイインターナショナル

美術解剖学と人体ドローイングのテキスト。動き、力強さ、プロポーションの調和に焦点を当てた方法を用いて解剖学と体の構造について論じ、体の動的・美的繋がり、手や頭部の描き方、さまざまなドローイングの技法を解説する。

朝日新聞 2023/02/04

2022:11./ 352p
978-4-7562-5529-7

¥3,520〔税込〕



跳ね返りとトラウマ～そばにいるあなたも無傷ではない～

カミーユ エマニュエル 著
柏書房

シャルリ・エブド襲撃事件の生き残りとなった風刺画家。その妻であるジャーナリストが、夫のとなりを歩んだ 5 年間の記録。関係者や専門家へのインタビューをおこない、自分に起きたことにどんな意味があるのかを明らかにする。

朝日新聞 2023/02/04

2022:12./ 358p
978-4-7601-5494-4

¥2,970〔税込〕



人類初の南極越冬船～ベルジカ号の記録～(フェニックスシリーズ 144)

ジュリアン・サンクトン、越智 正子 著
パンローリング

1897 年 8 月にアントワープを出発したベルギー南極探検隊。だが船はベリングスハウゼン海の氷で身動きがとれなくなり、極夜が続く南の果てでの越冬を余儀なくされ...。隊員の日記や航海日誌の記述から探検隊の真実に迫る。

朝日新聞 2023/02/04

2023:1./ 441p 図版 16p
978-4-7759-4281-9

¥2,200〔税込〕





天使たちの都市(韓国文学セレクション)

チョ・ヘジン 著

新泉社

米国に養子に出された19歳の<きみ>、結婚でウズベキスタンから渡韓した高麗人三世の<彼女>、父の家庭内暴力の跡が体中に残る<わたし>…。癒えない傷を抱えた人の心を繊細に描いた7篇の中短篇集。

朝日新聞 2023/02/04

2022:12./ 249p
978-4-7877-2223-2

¥2,420〔税込〕



洋装の日本史(インターナショナル新書 112)

刑部 芳則 著

集英社インターナショナル

日本人はいつから和服を捨て、洋服を着るようになったのか? NHK大河ドラマ「西郷どん」で軍装・洋装考証をつとめた著者が、豊富な史料から日本人の衣服の変遷を読み解き、間違いだらけの近現代服飾史を刷新する。

朝日新聞 2023/02/04

2022:12./ 317p
978-4-7976-8112-3

¥1,089〔税込〕



もっと知りたい司馬江漢と亜欧堂田善〜生涯と作品〜(アート・ビギナーズ・コレクション)

金子信久 著

東京美術

洋風画家の中でも、作品の数やバリエーションの豊かさ、創作としての面白さ、そして魅力において断トツの司馬江漢と亜欧堂田善。その生涯や変遷をたどりながら、作品の魅力と本質に迫る。

朝日新聞 2023/02/04

2022:11./ 95p
978-4-8087-1257-0

¥2,420〔税込〕



家庭用安心坑夫

小砂川 チト 著

講談社

日本橋三越の柱に、幼い頃実家の洋服箆筒に貼ったはずのシールがあるのを見つけた小波。狂気と現実世界が互いに侵蝕し合い、想定外の領域へと運んでいき…。『群像』掲載を書籍化。

朝日新聞 2023/02/04、毎日新聞 2023/02/18

2022:7./ 125p
978-4-06-528857-3

¥1,540〔税込〕



真鍋先生の恐竜教室〜きみも恐竜博士だ!〜

真鍋 真 著

岩波書店

トリ肉で骨の標本を作ったり、現代の鳥類や爬虫類と比べたりしながら、恐竜の秘密にせまる入門書。新種「マイプ」を発掘したアルゼンチンでの調査など、最新研究も解説する。国立科学博物館主催の講座を書籍化。

朝日新聞 2023/02/11

2022:12./ 127p
978-4-00-116042-0

¥1,980〔税込〕





さらば、男性政治(岩波新書 新赤版 1955)

三浦 まり 著
岩波書店

女性の衆議院議員 9.7%。日本の政治をアップデートするには。「男性政治」の観点から、日本政治の構造に切り込み、なぜ性別均等な議会が実現しにくいのか、どのように変革の道筋をつけるのかを論じる。

朝日新聞 2023/02/11

2023:1./ 4p,279p,13p
978-4-00-431955-9

¥1,078 [税込]



パレードのシステム

高山 羽根子 著
講談社

祖父の自死をきっかけに地元に戻った“私”は、祖父が戦前の台湾で生まれ育ったことを知る。台湾人の知人に誘われるまま台湾を訪れ、地方色豊かな当地の葬儀に参列。台湾の風景、死生観、儀礼に触れ…。『群像』掲載を書籍化。

朝日新聞 2023/02/11

2023:1./ 174p
978-4-06-530359-7

¥1,650 [税込]



もののふの国(中公文庫 あ88-2)

天野純希 著
中央公論新社

源頼朝、明智光秀、土方歳三…。命を懸けた果てなき争いの先に待ち受けていた光景とは？ 千年近くに亘る、血塗られた戦いの系譜を描く。競作企画「螺旋プロジェクト」の中世・近世編。書き下ろし短篇を加えて文庫化。

朝日新聞 2023/02/11

2022:12./ 491p
978-4-12-207290-9

¥946 [税込]



桜華～防衛大学校女子卒業生の戦い～

武田 頼政 著
文藝春秋

「死への覚悟」を秘めたイージス艦艦長、ブルーインパルスを飛ばした広報室長…。この国を護る女たちの結婚、出産、育児、離婚、出世、キャリアなどを描くノンフィクション。『週刊文春』連載を大幅に加筆。

朝日新聞 2023/02/11

2022:12./ 341p
978-4-16-391641-5

¥1,980 [税込]



本意に非ず(文春文庫 う34-2)

上田 秀人 著
文藝春秋

主である信長を討った明智光秀、極悪の者と忌み嫌われた松永久秀、父を死なせ弟を殺した伊達政宗-。歴史の流れの中で、理想や志と裏腹な決意をせねばならなかった男たちの、後悔と無念の人生を描く。

朝日新聞 2023/02/11

2022:12./ 303p
978-4-16-791968-9

¥748 [税込]





起死回生東スポ餃子の奇跡

岡田五知信 著

エムディエヌコーポレーション

スポーツ紙が危機的状況に晒される中、東京スポーツ新聞社が起死回生の決勝に打って出た!“東スポ餃子”の誕生秘話と驚異の復活劇、ヒットのノウハウなどを紹介する。

朝日新聞 2023/02/11

2022:11./ 223p
978-4-295-20455-8

¥1,650〔税込〕



自民党という絶望(宝島社新書 671)

古谷 経衡、浜 矩子、野口 悠紀雄、鈴木 宣弘、井上 寿一、亀井 静香、石破 茂、鈴木 エイト、白井 聡 著

宝島社

統一教会に票乞いするハレンチ、グロテスクな親米派の跋扈、“情と空気”に流される防衛政策…。「劣化」が止まらない自民党は、いずこで日本の舵取りを誤ったのか? その失敗の本質に 10 人の識者が迫る。

朝日新聞 2023/02/11

2023:2./ 255p
978-4-299-03850-0

¥990〔税込〕



「老いない」動物がヒトの未来を変える

スティーヴン・N・オースタッド 著

原書房

100 歳を超えても生殖を続けるトカゲ、70 歳でも数千キロを飛ぶ海鳥。超長寿動物の驚異的な機能の解明がヒトの未来の「健康寿命」のカギを握る! 老化研究の第一人者が長寿動物の生態や特徴から長寿の秘密を探る。

朝日新聞 2023/02/11

2022:12./ 381p,15p
978-4-562-07237-8

¥2,750〔税込〕



帝国ホテル建築物語(PHP 文芸文庫 う 1-4)

植松 三十里 著

PHP 研究所

世界的建築家ライトの飽くなきこだわり、経営陣の追及、関東大震災…。1923 年(大正 12 年)に完成した帝国ホテル旧本館「ライト館」の建築にかけた男たちの熱い闘いを描いた長編小説。

朝日新聞 2023/02/11

2023:1./ 387p
978-4-569-90268-5

¥990〔税込〕



逝きし世の面影(平凡社ライブラリー)

渡辺 京二 著

平凡社

昭和を問うなら開国を問え。そのためには開国以前の文明を問え…。幕末から明治に日本を訪れた、異邦人による訪日記を読破。日本近代が失ったものの意味を根本から問い直した超大作。

朝日新聞 2023/02/11

2005:9./ 604p
978-4-582-76552-6

¥2,090〔税込〕





ある行旅死亡人の物語

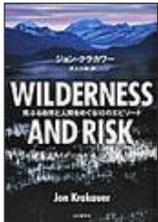
武田 惇志／伊藤 亜衣 著
毎日新聞出版

現金 3400 万円を残して孤独死した身元不明の女性。あなたは一体誰ですか? 「名もなき人」の半生を追った、記者たちの執念のルポルタージュ。『47NEWS』掲載記事を大幅に加筆し再構成。

朝日新聞 2023/02/11

2022:11./ 214p
978-4-620-32758-7

¥1,760〔税込〕



WILDERNESS AND RISK～荒ぶる自然と人間をめぐる 10 のエピソード～

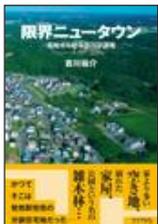
ジョン・クラカワー、井上 大剛 著
山と溪谷社

ビルの高さの大波に乗るサーファー、北米大陸でもっとも深い洞窟に潜る NASA の研究者、70 歳近くになっても未踏ルートに挑みつづける老登山家…。それぞれの理由を胸に、極限の自然に挑む人間たちのエピソードを紹介。

朝日新聞 2023/02/11

2022:12./ 273p
978-4-635-34040-3

¥1,760〔税込〕



限界ニュータウン～荒廃する超郊外に分譲地～

吉川 祐介 著
太郎次郎社エディタス

家より多い空き地、崩れた家屋、公園という名の雑木林。かつてそこは発売即完売の分譲住宅地だった。「限界ニュータウン」を訪ね歩きつづける著者が、その誕生から現状をたどり、利活用と未来を考える。

朝日新聞 2023/02/11

2022:10./ 239p
978-4-8118-0850-5

¥1,980〔税込〕



アダム・スミス(イギリス思想家書簡集)

名古屋大学出版会

かつて知的コミュニケーションの場として決定的位置をしめたメディア=手紙。「国富論」「道徳感情論」に現れない見解、知られざる論点からデイヴィッド・ヒュームとの交友まで、精彩に富むスミス書簡の全訳。

朝日新聞 2023/02/11

2022:12./ 24p,461p,15p
978-4-8158-1107-5

¥6,930〔税込〕



もうひとつのこの世～石牟礼道子の宇宙～

渡辺 京二 著
弦書房

人間に生きる根拠を与える、もうひとつのこの世とは何か。「石牟礼文学」の豊かさときわだつ特性はどこから来るのか。半世紀におよぶ交流から生まれた「石牟礼道子論」を集成する。

朝日新聞 2023/02/11

2013:6./ 225p
978-4-86329-089-1

¥2,420〔税込〕





帝国の虜囚～日本軍捕虜収容所の現実～

サラ・コブナー 著

みすず書房

アジア・太平洋戦争中、日本軍の捕虜となった数十万の連合軍兵士と一般市民は、いかなる状況に直面したのか。日本をはじめ各国での文献調査と生存者への聞き取りをもとに、日本軍捕虜収容所の実態に迫る。

2022:12./ 343p,58p

978-4-622-09527-9

¥5,280〔税込〕



朝日新聞 2023/02/11、読売新聞 2023/02/19

世論<上>(岩波文庫 白 222-1)

リップマン 著

岩波書店

リップマンが『世論』を書いた動機は、第一次大戦後の混乱の原因究明にあった(1922年刊)。にも拘らず我々がこの書を手にとると、あたかも現在を分析し警告を発しているかのような切迫感を覚える。それは、大衆心理がいかに形成されるかを出発点として、人間と環境の基本的な関係を、イメージの概念から明晰に解いているからだ。

1987:7./ 270p

978-4-00-342221-2

¥858〔税込〕



朝日新聞 2023/02/18

世論<下>(岩波文庫 白 222-2)

リップマン 著

岩波書店

リップマンが『世論』を書いた動機は、第一次大戦後の混乱の原因究明にあった(1922年刊)。にも拘らず我々がこの書を手にとると、あたかも現在を分析し警告を発しているかのような切迫感を覚える。それは、大衆心理がいかに形成されるかを出発点として、人間と環境の基本的な関係を、イメージの概念から明晰に解いているからだ。

1987:12./ 297p

978-4-00-342222-9

¥990〔税込〕



朝日新聞 2023/02/18



孤塁～双葉郡消防士たちの3・11～(岩波現代文庫 社会 333)

吉田 千亜 著

岩波書店

原発が暴発・暴走するなか、地震・津波被災者の救助や避難誘導、原発構内での火災対応にあたった福島県双葉消防本部の125名の消防士。その緊迫の日々を一人ひとりの声から描き出す。「孤塁」その後」を加筆し文庫化。

2023:1./ 5p,261p

978-4-00-603333-0

¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2023/02/18



エーテルの村(ソノラマ+コミックス 幻怪地帯 Season2)

伊藤潤二 著

朝日新聞出版

今年2年連続、通算4度目のアイズナー賞を受賞した鬼才・伊藤潤二。2023年1月19日にNetflixアニメの配信も決定。全世界が注目する新作オリジナル短編集がついに発売!

朝日新聞 2023/02/18

2022:12./ 215p
978-4-02-214350-1

¥1,100 [税込]



新危機の20年~プーチン政治史~(朝日選書 1014)

下斗米伸夫 著

朝日新聞出版

憲法改正により、最長2036年までの続投も可能になったロシアのプーチン大統領。2000~2020年のプーチン統治のもとのロシア連邦を、主としてロシア政治史、特に内政と外交との連繋という視点から徹底考察する。

朝日新聞 2023/02/18

2020:10./ 334p,25p
978-4-02-263101-5

¥1,870 [税込]



非戦の安全保障論~ウクライナ戦争以後の日本の戦略~(集英社新書 1132)

自衛隊を活かす会 編

柳澤 協二/伊勢崎 賢治/加藤 朗/林 吉永 著

集英社

ロシア軍のウクライナ侵攻が突きつけた現状の国際秩序の問題点と、日本の安全保障をめぐる環境の変化と対応策を4人の専門家が語り合い、徹底的に戦争を回避する国家としての日本の在り方、「非戦の安全保障論」を示す。

朝日新聞 2023/02/18

2022:9./ 221p
978-4-08-721232-7

¥990 [税込]



胚培養士(はいばいようし) ミズイロ(ビッグ コミックス)

おかざき 真里 著

小学館

現在14人にひとりが体外受精で生まれている日本。治療件数が世界で最も多いにも関わらず最も妊娠率の低いこの国で、彼らは子供を欲する夫婦たちの強い想いに応えていく。

朝日新聞 2023/02/18

2023:2./ 164p
978-4-09-861483-7

¥770 [税込]



テロルの原点~安田善次郎暗殺事件~(新潮文庫 な-66-3)

中島 岳志 著

新潮社

失敗の連続、満たされぬ思い、周囲への憎悪-。閉塞した大正期を生き抜いた青年・朝日が最後に選んだのは、単独テロ。やがてそれはテロの連鎖を生み、大いなる悲劇を招く。何が彼をそこまで駆り立てたのか? その軌跡を鋭く描く。

朝日新聞 2023/02/18

2023:2./ 259p
978-4-10-136573-2

¥693 [税込]





装飾古墳の謎(文春新書 1390)

河野 一隆 著
文藝春秋

石室内が赤、緑、黒などの図文で彩られた装飾古墳はなぜ九州と関東周辺に集中し、近畿にはほとんど存在しないのか。筑紫君磐井の乱の敗北をその理由とする通説に反証し、世界的視座から謎に迫る。装飾古墳のカラー写真も掲載。

朝日新聞 2023/02/18

2023:1./ 271p
978-4-16-661390-8

¥1,595 [税込]



古代豪族大神氏～ヤマト王権と三輪山祭祀～(ちくま新書 1703)

鈴木 正信 著
筑摩書房

ヤマト王権の国家祭祀を担った氏族であり、祖先が日本で最初の疫病を鎮めたとする伝承を語り継いで後世まで命脈を保ってきた大神(おおみわ)氏。大神氏の最新研究によって、古代の王権や祭祀のあり方を明らかにする。

朝日新聞 2023/02/18

2023:1./ 286p
978-4-480-07535-2

¥1,034 [税込]



ナチズムの美学～キッチンと死についての考察～(ちくま学芸文庫 フ49-1)

ソール・フリードレンダー 著
筑摩書房

何によって民衆はナチズムに魅惑されたのか。第二次世界大戦後に作られた映画・小説等を中心に言説分析を行うことにより、ナチスに魅入られた大衆心理の意外な正体を暴き出す。

朝日新聞 2023/02/18

2023:1./ 244p
978-4-480-51161-4

¥1,210 [税込]



あなたの牛を追いなさい

枡野 俊明／松重 豊 著
毎日新聞出版

悟りに至る10段階に見える化した禅の最強フレームワーク「十牛図」。禅僧・枡野俊明と俳優・松重豊が、「十牛図」をテーマに、本当の自分になるための心のあり方、考え方、行動について語り尽くす。

朝日新聞 2023/02/18

2023:1./ 215p
978-4-620-32763-1

¥1,650 [税込]



樋口真嗣特撮野帳～映像プラン・スケッチ～

樋口真嗣 著
パイインターナショナル

「シン・ウルトラマン」「シン・ゴジラ」「巨神兵東京に現わる」「進撃の巨人」など特撮を制作する際に描かれた樋口真嗣のアイデアスケッチを抜粋編集しまとめる。新たに書き下ろしたメモ、インタビューも掲載。

朝日新聞 2023/02/18

2022:12./ 639p
978-4-7562-5305-7

¥4,620 [税込]





神経症的な美しさ～アウトサイダーがみた日本～

込山 宏太 編
モリス・バーマン 著
慶應義塾大学出版会

脱領域的思想家による骨太の日本人論。禅、民芸、オタク文化など、広範囲にわたる文化事象を参照しながら、日本人の精神史がアメリカとの接触の中でどう変容してきたかをたどり、<日本的なるもの>の可能性を精査する。

朝日新聞 2023/02/18

2022:12./ 6p,411p
978-4-7664-2856-8

¥4,180〔税込〕



調べる技術～国会図書館秘伝のレファレンス・チップス～

小林 昌樹 著
皓星社

原稿のチェックや論文執筆などの「調べもの」をする際に、キチンと答えを出すにはどうすればよいか？国会図書館で利用者の調べ物相談(レファレンス)に従事した著者が、その実践的な技術を公開する。メルマガ連載を書籍化。

朝日新聞 2023/02/18

2022:12./ 183p
978-4-7744-0776-0

¥2,200〔税込〕



インドとビートルズ～シタール、ドラッグ&メディテーション～

アジョイ・ボース 著
青土社

ビートルズはなぜインドにやってきたのか。果たして「現場」ではどんな出来事があったのか？意見の相違に引き裂かれながらも創造性を発揮し続けた、4人のインドでの姿をユニークな登場人物や出来事を交え豊かに描き出す。

朝日新聞 2023/02/18

2022:12./ 413p
978-4-7917-7530-9

¥2,860〔税込〕



プーチン戦争の論理(インターナショナル新書 109)

下斗米 伸夫 著
集英社インターナショナル

2022年2月にはじまった「特別軍事作戦」という名の「プーチンの戦争」。なぜロシアは、ウクライナへ侵攻したのか？プーチンと何度も対面した経験を持つ著者が、ウクライナ侵攻の真相を解説する。

朝日新聞 2023/02/18

2022:10./ 237p
978-4-7976-8109-3

¥946〔税込〕



純粋な人間たち

モハメド・ムブガル＝サール 著
英治出版

この国で居場所がないのは、同性愛者だけ。実際に起こった事件を題材にセネガル社会のタブーに切りこみ、集団の正義のために暴力を行使する人間の根源的な愚かさ、社会から排斥されることへの潜在的な恐怖を克明に描く。

朝日新聞 2023/02/18

2022:12./ 229p
978-4-86276-312-9

¥2,530〔税込〕





ドナウ、小さな水の旅～ベオグラード発～

山崎 佳代子 著
左右社

数多の戦の舞台として苛酷な歴史を持つベオグラードに住む著者が綴る、セルビアを流れるドナウの支流たちをめぐる小さな旅の記録。季刊誌『やまかわうみ』ほか掲載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2023/02/18

2022:12./ 285p
978-4-86528-354-9

¥2,860〔税込〕



美術家たちの学生時代

功刀知子 著
芸術新聞社

美術家たちはどのように唯一無二の「自分」を確立してきたのか。舟越桂、塩田千春、千住博、町田久美、山口晃など、第一線で活躍する美術家たちにインタビュー。学生時代の話を中心に、知られざるバックボーンに迫る。

朝日新聞 2023/02/18

2022:11./ 199p
978-4-87586-640-4

¥1,980〔税込〕



本屋で待つ

佐藤 友則、島田 潤一郎 著
夏葉社

町の人たちがなんでも相談にくる山間の本屋「ウィー東城店」。本にたいする信頼、本を売る人への信頼が、ウィー東城店を特別な店に変えていき…。地域の小売店の可能性と、そこで成長する若者たちの姿を描く。

朝日新聞 2023/02/18

2022:12./ 205p
978-4-904816-43-1

¥1,760〔税込〕



絵画の素～TOPICA PICTUS～

岡崎 乾二郎 著
岩波書店

絵をみることは、そのたびに絵を新たに発見すること。何かを生み出すことは、よりよく思い出すこと。造形作家・批評家の岡崎乾二郎が<創作の秘密>を語る。webマガジン『たねをまく』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/02/18、毎日新聞 2023/02/18

2022:11./ 8p,459p,8p
978-4-00-061515-0

¥5,500〔税込〕



迫りくる核リスク～<核抑止>を解体する～(岩波新書 新赤版 1946)

吉田 文彦 著
岩波書店

ウクライナ侵攻以後、核兵器が使用されるリスクが急激に高まっている。核の保有が核の使用を防ぐという<核抑止>の実態を歴史と現状の分析から明らかにし、<核抑止>脱却に向けた政策を提言する。

朝日新聞 2023/02/25

2022:11./ 13p,249p,5p
978-4-00-431946-7

¥990〔税込〕





**科学者はなぜ神を信じるのか～コペルニクスからホーキングまで～(ブルー
ボックス B-2061)**

三田 一郎 著

講談社

宇宙創成を解明する重要な発見をした科学者の多くが実は「創造主」としての神の存在を信じていた。なぜ彼らは神を信じるのか。そこに矛盾はないのか。科学と神の2000年の相克を通して読み解く。

朝日新聞 2023/02/25

2018:6./ 270p
978-4-06-512050-7

¥1,100〔税込〕



9 78 4 06 5 1 2 0 5 0 7



香港陥落

松浦 寿輝 著

講談社

1941年、日本軍政前夜の香港。暗い過去を秘めた日英中の男3人が、ペニンシュラ・ホテルに集い、語り合う。やがて夜は更け、歴史が動き始め…。時代の狂風に翻弄される男達の愛と友情と苦悩を描く。『群像』掲載を書籍化。

朝日新聞 2023/02/25

2023:1./ 252p
978-4-06-530023-7

¥1,980〔税込〕



9 78 4 06 5 3 0 0 2 3 7



ネット右翼になった父(講談社現代新書 2691)

鈴木 大介 著

講談社

老いて右傾化した父と、子どもたちの分断。「現代の家族病」に融和の道はあるのか？父と家族の間にできた分断に挑む家族再生の道程を、ルポライターの長男が綴る。

朝日新聞 2023/02/25

2023:1./ 244p
978-4-06-530889-9

¥990〔税込〕



9 78 4 06 5 3 0 8 8 9 9



小山田圭吾の「いじめ」はいかにつくられたか～現代の災い「インフォデミック」を考える～(集英社新書 1152)

片岡 大右 著

集英社

東京五輪直前の大バッシング。小山田圭吾の過去の「いじめ」をめぐる発言はいかに歪められ、炎上したのか。日本の「いじめ」観を踏まえ、現代の情報流通様式が招く「災い」を考察する。note連載をもとに単行本化。

朝日新聞 2023/02/25

2023:2./ 264p
978-4-08-721252-5

¥1,078〔税込〕



9 78 4 08 7 2 1 2 5 2 5



私の家(集英社文庫 あ 77-2)

青山 七恵 著

集英社

実家に戻ってきた娘、他人に親身な母、音信不通だった伯父、そして大叔母。すれ違いつつも、同じ家に暮らした記憶と小さな秘密に結び合わされて…。三代にわたる「家と私」の物語。

朝日新聞 2023/02/25

2022:12./ 399p
978-4-08-744466-7

¥913〔税込〕



9 78 4 08 7 4 4 4 6 6 7



ギャラリーストーリー-美術業界を蝕む女性差別と性被害

猪谷千香 著
中央公論新社

煌びやかな美術業界の舞台裏には、ハラスメントの温床となる異常な構造と体質、伝統があった…。若い女性作家を食い物にする美術業界の暗部をレポートする。『弁護士ドットコムニュース』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

朝日新聞 2023/02/25

2023:1./ 227p
978-4-12-005616-1

¥1,760〔税込〕



食べごしらえ おままごと(中公文庫 い116-1)

石牟礼 道子 著
中央公論新社

食べることには憂愁が伴う。猫が青草を噛んで、もどすときのように-。父がつくったぶえんずし、獅子舞の口にさしだした鯛の身。記憶を自在に行き来しながら、土地に根ざした食と四季を多彩なことばで綴る。

朝日新聞 2023/02/25

2012:9./ 図版 16p,167p
978-4-12-205699-2

¥649〔税込〕



女二人のニューギニア(河出文庫 あ35-4)

有吉 佐和子 著
河出書房新社

そこは全く文明に侵されておらず、野豚3匹と女ひとりの価値は一緒!? 文化人類学者で友人の畑中幸子が住むニューギニアの奥地を訪ねた有吉佐和子の、驚きの連続と抱腹絶倒の滞在記。平松洋子による解説付き。

朝日新聞 2023/02/25

2023:1./ 285p
978-4-309-41939-8

¥990〔税込〕



ホッキョクグマのブック

あずみ虫 著
童心社

ホッキョクグマのあかちゃんブックは、いつでもお母さんと一緒。でも、こっそり外の世界をのぞいてみたくなって…。動物の親子の愛情を描いたあたたかな物語。

朝日新聞 2023/02/25

2023:1./ 41p
978-4-494-01585-6

¥1,650〔税込〕



パップという名の犬

ジル・ルイス 著
評論社

あの男の子がいれば、きっと守ってくれる。でも、今はここが自分の世界。野良犬として生きていくしかないのだ…。都会に暮らす野良犬たちを主人公に、人間と動物のかかわりを、弱い立場の者たちに心をよせていねいに描く。

朝日新聞 2023/02/25

2023:1./ 374p
978-4-566-02478-6

¥1,760〔税込〕





待ち遠しい(毎日文庫 し 2-1)

柴崎 友香 著
毎日新聞出版

住み心地のいい離れの一軒家で一人暮らしを続ける 39 歳の春子。母屋に越してきた、夫を亡くしたばかりの 63 歳のゆかりと、裏手の家に暮らす、今どきの新婚 25 歳の沙希と出会い、「ご近所付き合い」が始まるが...

朝日新聞 2023/02/25

2023:1./ 397p
978-4-620-21053-7
¥990〔税込〕



草原が大好きダリアちゃん～ロシア連邦～(ともだちみつけた!)

長倉洋海 著
アリス館

シベリアで暮らす 5 歳のダリアちゃん。冬の間、トナカイたちの食べものがなくなると、1 週間ごとにテントを移動します。春が近づくと、大移動の準備が始まり...。ダリアちゃんとトナカイたちとの暮らしを紹介します。

朝日新聞 2023/02/25

2023:1./ 40p
978-4-7520-1032-6
¥1,650〔税込〕



国民食の履歴書～カレー、マヨネーズ、ソース、餃子、肉じゃが～

魚柄 仁之助 著
青弓社

文明開化期からの家庭雑誌・料理雑誌を渉猟して、レシピどおりに調理し、経験豊かな舌で味を吟味。その結果から通説の輸入史・生育史に疑問やダメ出しを投げかけて、意外な経歴を明らかにする食文化論。

朝日新聞 2023/02/25

2020:1./ 187p
978-4-7872-2087-5
¥1,980〔税込〕



スティーブ&ボニー～砂漠のゲンシリョクムラ・イン・アメリカ～

安東量子 著
晶文社

福島県在住の著者のもとへ、アメリカで開かれる原子力に関する会議に出席しないかというメールが舞い込む。現地で原子力や放射線防護について意見を異とする人びとと交わるうちに見えてきたものは...。アメリカ訪問の記録。

朝日新聞 2023/02/25

2022:12./ 287p
978-4-7949-7340-5
¥1,980〔税込〕



呪物蒐集録

田中 俊行 著
竹書房

見るだけで障る圧倒的な呪力! 呪詛人形、人骨笛カンリン、ブドゥー人形、マネキンの首、オラクル、死者の書...。オカルトコレクター田中俊行が、集めた日々つきの呪物をビジュアルや恐怖エピソードと共に紹介する。

朝日新聞 2023/02/25

2022:12./ 191p
978-4-8019-3304-0
¥1,760〔税込〕





香港存歿～自由と真実に関する一考察～(論創ノンフィクション 031)

張燦輝 著
論創社

2019年の逃亡犯条例改正反対運動を経て、香港はどこへ向かうのか。自由が制限され、言論が弾圧されながら、ペンを剣にして政府に抗い、社会運動にも積極的に参加する哲学者が、香港の今を渾身の力で描く。

朝日新聞 2023/02/25

2023:1./ 322p
978-4-8460-2134-4

¥2,420〔税込〕



小さな芸術(社会・芸術論集 1)

ウィリアム・モリス 著
月曜社

英国のデザイナー、ウィリアム・モリスの思想を伝える論集。Iは、「小さな芸術」「民衆の芸術」「芸術の目的」など、1870年代終わりから1880年代にかけて行われた芸術と労働、自然をめぐる講演8篇を収録する。

朝日新聞 2023/02/25

2022:11./ 389p
978-4-86503-151-5

¥3,080〔税込〕



山の今昔物語

工藤 隆雄 著
山と溪谷社

山小屋の主人や登山者などに訊きまわった怪談話をはじめ不思議な話、滑稽な話、動物に関する話…。山と人間の織りなす小宇宙のようなエピソードを全86話収録する。

東京・中日新聞 2023/02/05

2022:12./ 255p
978-4-635-82430-9

¥1,760〔税込〕



天啓～ハンセン病歌人明石海人の誕生～

松岡秀明 著
短歌研究社

明石海人の歌集「白描」は、なぜベストセラーになったのか。ハンセン病患者としての明石海人の生の軌跡が描かれた「第一部白描」を、歌人・文化人類学者の視点で読み解き、その背景と多くの読者をひきつけた魅力を検証する。

東京・中日新聞 2023/02/05

2022:11./ 285p
978-4-86272-703-9

¥2,970〔税込〕



シチリアの奇跡～マフィアからエシカルへ～(新潮新書 978)

島村 菜津 著
新潮社

みかじめ料不払い運動に反マフィア観光ツアー、有名ピザ屋が恐喝者を取り押さえ、押収された土地が有機ワイン農場に…。"マフィアの島"シチリアをエシカル消費の先進地に変えた、諦めない人びとのしなやかな戦いを伝える。

東京・中日新聞 2023/02/05、読売新聞 2023/02/05

2022:12./ 239p
978-4-10-610978-2

¥902〔税込〕





十二支外伝〜スーパーアニマルミステリーツアー〜

福井 栄一 著
工作舎

芸達者なら、タヌキやキツネ。強面するのは、クマにオオカミ、シシにヒョウ。淑女は、やっぱりネコが好き…。神話、伝説、民話から読本、歌舞伎まで、十二支になれなかった動物たちの波乱万丈、奇妙奇天烈な怪異譚を集成。

東京・中日新聞 2023/02/05、毎日新聞 2023/02/18

2022:11./ 445p
978-4-87502-550-4

¥2,640〔税込〕



ショージ君、85歳。老いてなお、ケシカランことばかり

東海林 さだお 著
大和書房

「責任者呼べ!」と叫ぶメイワク老人を横目に、我々もまた、つまづいた石に、パンツをはくにもよろめく体に、腹を立ててはいないだろうか。85歳になった東海林さだおが、古い、死、日々の面白がり方について語る。

東京・中日新聞 2023/02/11

2023:1./ 218p
978-4-479-01227-6

¥1,540〔税込〕



瘋癲老人日記(中公文庫 た30-62)

谷崎潤一郎 著
中央公論新社

性に執着する老人を戯画的に描き出した晩年の長篇「瘋癲老人日記」、随筆「老後の春」と絶筆の随筆「七十九歳の春」を収録。吉行淳之介らによる解説、詳細な註解、棟方志功の版画 20 点余を収録。

東京・中日新聞 2023/02/11、毎日新聞 2023/02/11

2022:12./ 356p
978-4-12-207298-5

¥1,100〔税込〕



水〜本の小説〜

北村 薫 著
新潮社

向田邦子、小林信彦、エラリー・クイーン…。本を愛する作家が、言葉と物語からあふれる力を掬いとり、その輝きを伝える<本の私小説>7篇を収録する。『波』掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2023/02/12

2022:11./ 278p
978-4-10-406616-2

¥1,925〔税込〕



つげ義春賛江〜偏愛エッセイ・評論集〜

山田英生 編
双葉社

孤高の漫画家、つげ義春へ寄せるエッセイ・論考集。白土三平、水木しげる、吉本隆明、島尾敏雄、川上弘美ら各界の表現者によるエッセイのほか、評論、対談、人物ルポなどを収録する。

東京・中日新聞 2023/02/12

2023:1./ 365p
978-4-575-31754-1

¥2,970〔税込〕





盛り場で生きる～歓楽街の生存者たち～

フリート横田 著

毎日新聞出版

バブル期のキャバレー王、魔窟とされた娼館で働き暮らした元男娼、新宿二丁目の成功者…。昭和から令和へ、盛り場の虚々実々の世界を生き抜いた人びとの<生身>の人生を、ノンフィクション作家が描く。

東京・中日新聞 2023/02/12

2022:12./ 371p
978-4-620-32762-4

¥2,200〔税込〕



100均資本主義～脱成長社会「幸せな暮らし」のつかみ方～

郭洋春 著

プレジデント社

バブル崩壊から30年、長く低賃金が続いても国民が暮らしてこられたのは、100円ショップなどの激安ショップが存在するおかげだ。この特異な経済のかたちを「100均資本主義」と呼び、日本経済の現状を探究する。

東京・中日新聞 2023/02/12

2022:12./ 207p
978-4-8334-2465-3

¥1,870〔税込〕



永遠なるものたち

姫乃たま 著

晶文社

移ろいゆく空の色。失われ、手の届かないがゆえに永遠となったものたち。欠けた私を探しにゆく、フラジャイルな旅へ。元地下アイドル・姫乃たまのエッセイ集。恋愛ウェブメディア『AM』連載に加筆修正し書籍化。

東京・中日新聞 2023/02/18

2022:12./ 219p
978-4-7949-7094-7

¥1,650〔税込〕



破果

ク・ビョンモ 著

岩波書店

守るべきものはつくりなれない信条に、ハードな現場を生き抜いてきた60代女殺し屋・爪角。命あるものの温もりに気づいたとき、人生最後の死闘がはじまる。韓国発の新感覚ノワール。

東京・中日新聞 2023/02/19

2022:12./ 274p
978-4-00-061576-1

¥2,970〔税込〕



アマゾンに鉄道を作る～大成建設秘録～

杉原 修 編

風樹 茂 著

五月書房新社

1980年代、南米ボリビアでODAによる鉄道再敷設プロジェクトが持ち上がり、大成建設から数名の日本人エンジニアと1名の通訳者が派遣された。予想外のトラブルが続く中、果たして鉄道工事は完成するのか。心温まる実話。

東京・中日新聞 2023/02/19

2023:2./ 347p
978-4-909542-46-5

¥2,200〔税込〕





すべての、白いものたちの(河出文庫 ハ16-1)

ハン・ガン 著

河出書房新社

生後すぐ亡くなった姉をめぐり、ホロコースト後に再建されたワルシャワの街と朝鮮半島の記憶が交差する、儚くも偉大な命の鎮魂と恢復への祈り。うぶぎ、しお、ゆき、ほね…。『白いもの』の目録を書きとめ紡がれた 65 の物語。

東京・中日新聞 2023/02/25、読売新聞 2023/02/26

2023:2./ 196p
978-4-309-46773-3

¥935〔税込〕



おやじはニーチェ〜認知症の父と過ごした 436 日〜

高橋 秀実 著

新潮社

失敗を忘れるから夢や希望も抱けるし、忘れるから現在を感じられる-。哲学者の言葉の数々に救われながら、認知症の父と向き合った介護の記録。『小説新潮』連載を加筆修正。

東京・中日新聞 2023/02/26

2023:1./ 286p
978-4-10-473807-6

¥1,815〔税込〕



ヤラセと情熱〜水曜スペシャル「川口浩探検隊」の真実〜

プチ鹿島 著

双葉社

世界の未知の生物や未踏の秘境を求めた 70 年代後半〜80 年代の TV 番組「川口浩探検シリーズ」。ヤラセだとそのしりを受け、一笑に付されてきた探検隊の「真実」を捜し求め、当事者の証言からテレビの本質に踏み込む。

東京・中日新聞 2023/02/26

2022:12./ 331p
978-4-575-31760-2

¥1,980〔税込〕



あなたがたに話す私はモンスター〜精神分析アカデミーへの報告〜

ポール・B.プレシアド 著

法政大学出版局

2019 年 11 月バリ、<フロイトの大義>学派の国際会議日に、3500 人の精神分析家らの前で行われ、聴衆に激震をもたらした講演の全文。学問とジェンダーをめぐるラディカルな問題提起。

東京・中日新聞 2023/02/26

2022:11./ 109p,33p
978-4-588-13034-2

¥1,650〔税込〕



防衛省に告ぐ〜元自衛隊現場トップが明かす防衛行政の失態〜(中公新書ラクレ 785)

香田洋二 著

中央公論新社

意思疎通に問題がある防衛省と自衛隊、イージスアショア問題が浮き彫りにした防衛省の独善、教訓生かされぬ日米同盟…。元・海上自衛隊自衛艦隊司令官が防衛行政の失態を明らかにする。

東京・中日新聞 2023/02/26、読売新聞 2023/02/26

2023:1./ 261p
978-4-12-150785-3

¥946〔税込〕





朽ちるマンション老いる住民(朝日新書 894)

朝日新聞取材班 著

朝日新聞出版

管理会社「更新拒否」、大規模修繕費の高騰、認知症の住民の増加…。集合住宅の“老い”をどう乗り越えていけばいいのか、再生を目指し模索する住民の姿を追う。『朝日新聞デジタル』など掲載をもとに書籍化。

読売新聞 2023/02/05

2023:1./ 213p
978-4-02-295204-2

¥891〔税込〕



喜び、幸いなる魂よ

佐藤 亜紀 著

KADOKAWA

18世紀ベルギーの小都市。ヤネケは、一緒に育てられたヤンの子を産むと、生涯単身を選んだ半聖半俗の女たちが住まう「ペギン会」に移り住む。ヤンはヤネケと家庭を築くことを願うが…。『小説野性時代』連載を単行本化。

読売新聞 2023/02/05

2022:3./ 316p
978-4-04-111486-5

¥2,090〔税込〕



開墾地

グレゴリー・ケズナジャット 著

講談社

留学先の日本から、サウスカロライナに帰郷したラッセル。葛の繁茂した庭、南部ならではの湿気、耳に届く哀切な音楽。彼は、遠くイランからこの地に根を下ろした父の来し方に想いを馳せ…。繊細な感性で描く新たな越境文学。

読売新聞 2023/02/05

2023:1./ 90p
978-4-06-531168-4

¥1,430〔税込〕



獣医師、アフリカの水をのむ(集英社文庫 た 50-3)

竹田津 実 著

集英社

幼い頃「少年ケニア」を読んでアフリカに憧れた著者。獣医師となり、ケニアを訪れ、それから通い詰めること40年。逞しく個性的な人々と動物たちへの思いを写真とともに綴る。『青春と読書』連載に加筆修正。

読売新聞 2023/02/05

2022:12./ 318p
978-4-08-744472-8

¥924〔税込〕



天路の旅人

沢木 耕太郎 著

新潮社

第二次大戦末期、中国大陸の奥深くまで「密偵」として潜入し、敗戦後もラマ僧に扮したまま未知なる世界を歩み続けた西川一三。その果てしない旅と人生を、彼の著作とインタビューをもとに描く。『新潮』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/02/05

2022:10./ 574p
978-4-10-327523-7

¥2,640〔税込〕





田中耕太郎～闘う司法の確立者、世界法の探究者～(中公新書 2726)

牧原出 著
中央公論新社

戦前は東大教授、戦後は文部大臣と参院議員を歴任、最高裁長官を10年務め、国際司法裁判所判事に選出される…。学界・政界・司法の場で奮闘し、戦後日本を形作ったカトリックの自由主義者・田中耕太郎の生涯を綴る。

2022:11./ 8p,298p
978-4-12-102726-9

¥1,034〔税込〕



読売新聞 2023/02/05



体はゆく～できるを科学する<テクノロジーx身体>～

伊藤 亜紗 著
文藝春秋

「できなかったことができる」とは何だろう？ ピアノや野球の技能習得のメカニズムからリハビリへの応用まで、先端テクノロジーが見せる体の「奔放な」可能性について考察する。

2022:11./ 245p
978-4-16-391631-6

¥1,760〔税込〕



読売新聞 2023/02/05



江戸の夢びらき(文春文庫 ま 29-4)

松井 今朝子 著
文藝春秋

荒事の開祖にして、最後は舞台上で刺殺されたカリスマ。信仰に近い人気を得て、今なお愛される名演目と斬新な演出を生み出した不世出の天才。謎多き初代市川團十郎の生涯を、元禄の狂乱と江戸歌舞伎の胎動とともに描き切る。

2022:11./ 404p
978-4-16-791959-7

¥979〔税込〕



読売新聞 2023/02/05



私と言葉たち

アーシュラ・K・ル＝グウィン 著
河出書房新社

睡眠、人工の言語、本の中の動物たち、女たち、自らの育った家…。2000年から2016年までの間に書かれたエッセイや書評と、1994年春の特別な1週間の日記をまとめる。

2022:11./ 426p
978-4-309-20872-5

¥3,245〔税込〕



読売新聞 2023/02/05



Web3 とは何か～NFT、ブロックチェーン、メタバース～(光文社新書 1232)

岡嶋裕史 著
光文社

「巨大IT企業の支配から個人が解放されたインフラ」で「要素技術としてブロックチェーン、なかでもNFTあたりを重視する」というWeb3。その全体像や社会への影響を、批判的な見方を含めて解説する。

2022:12./ 382p
978-4-334-04639-2

¥1,056〔税込〕



読売新聞 2023/02/05



死の講義～死んだらどうなるか、自分で決めなさい～

橋爪 大三郎 著
ダイヤモンド社

死んだらどうなるのかは、自分が自由に決めてよい。宗教の数だけ、人々の考え方の数だけ、死んだらどうなるのかの答えがある。仏教、キリスト教、イスラム教などを例に、死について宗教社会学の視点から鮮やかに説明する。

読売新聞 2023/02/05

2020:9./ 281p
978-4-478-11119-2

¥1,870〔税込〕



年をとったら驚いた!(ちくま文庫 あ 26-12)

嵐山 光三郎 著
筑摩書房

驚くのは生きている証。老いてなお日々驚こう! 小説家、ミュージシャン、画家、雑貨店店主、魚屋、幼馴染...かかわりある人々から歴史上の人物まで、多くの人生を見つめつつ紡ぎだした人生哲学満載のエッセイ集。

読売新聞 2023/02/05

2022:12./ 217p
978-4-480-43849-2

¥902〔税込〕



金環日蝕

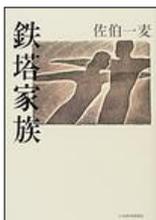
阿部 暁子 著
東京創元社

ひったくりの現場を目撃した大学生の春風は、その場に居合わせた高校生の錬とともに犯人を追うが、間一髪で取り逃がす。春風は、ひとりで犯人捜しをしようとするが、錬に押し切られて二日間だけ探偵コンビを組むことになり...

読売新聞 2023/02/05

2022:10./ 409p
978-4-488-02878-7

¥1,980〔税込〕



鉄塔家族

佐伯 一麦 著
日本経済新聞出版社

東北のある地方都市のシンボル「鉄塔」の麓で暮らす人たちの平穏な日常には過去の暗い影がつかまとうが...。細密な描写で人間の勁さに迫る長編小説。『日本経済新聞』連載を単行本化。

読売新聞 2023/02/05

2004:6./ 548p
978-4-532-17065-3

¥2,750〔税込〕



人はなぜ物を欲しがするのか～私たちを支配する「所有」という概念～

ブルース・フッド 著
白揚社

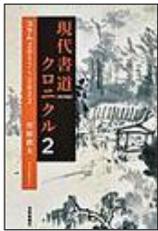
いくら物を手に入れても幸福になれないのはなぜか? 個人の所有欲が社会のあり方に与えた影響とは? 心理学、生物学、社会学、行動経済学など多様な観点から、人間を翻弄する「所有」の正体を探る。

読売新聞 2023/02/05

2022:12./ 318p
978-4-8269-0244-1

¥3,300〔税込〕





現代書道クロニクル～年代記～<2> コラム 2017～2022

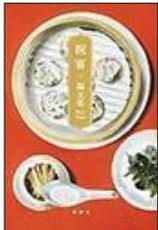
菅原教夫 著
芸術新聞社

日本、そして中国の「書」の現況を、大局的かつ局所的に考察。2は、2017年1月～2022年8月の『読売新聞』に掲載されたコラム68篇に補記を加え、年代順に収録する。人名索引付き。

読売新聞 2023/02/05

2022:11./ 278p
978-4-87586-660-2

¥3,080〔税込〕



祝宴

温 又柔 著
新潮社

長女・瑜瑜が同性の恋人の存在を告白したのは、次女の結婚式の夜だった。長女の「一番の理解者」でありながら、本音では戸惑う父・明虎。葛藤を深める彼は、一族三代の記憶を辿り始め…。『新潮』掲載を書籍化。

読売新聞 2023/02/05、日本経済新聞 2023/02/18

2022:11./ 155p
978-4-10-354731-0

¥1,650〔税込〕



彼女はマリウポリからやってきた

ナターシャ・ヴォーディン 著
白水社

2013年のある夏、若くして逝った母の痕跡をたどる旅が始まった。手がかりは母の名前と残された3枚の写真、2通の書類、そして「わたし」のおぼろげな記憶だけ…。失われた家族の歴史と、自らのルーツを探る瞠目の書。

読売新聞 2023/02/05、日本経済新聞 2023/02/18

2023:1./ 348p,2p
978-4-560-09467-9

¥3,080〔税込〕



ヒットタイトに魅せられて～考古学者に漫画家が質問!!～

大村 幸弘／篠原 千絵 著
山川出版社

アナトリア(トルコ)の大地で未知の古代文明を発掘し続ける考古学者・大村幸弘に、漫画「天は赤い河のほとり」の作者・篠原千絵が質問! 大村の足跡とヒットタイト、ミタンニに関する考古学研究の秘話にせまる。

読売新聞 2023/02/05、毎日新聞 2023/02/11

2022:11./ 285p
978-4-634-15190-1

¥1,980〔税込〕



理系女性の人生設計ガイド～自分を生かす仕事と生き方～(ブルーバックス B-2170)

大隅 典子／大島 まり／山本 佳世子 著
講談社

女性が理系の道を進むとき、どんな壁にぶつかるのか? 研究室や職場での悩みや、ワーク・ライフ・バランスなど、理系女性を取り巻く現状を取り上げ、先輩たちの仕事と日常から、理系女性の不安を乗り越えるヒントを伝える。

読売新聞 2023/02/12

2021:5./ 260p
978-4-06-523181-4

¥1,100〔税込〕





人口の経済学～平等の構想と統治をめぐる思想史～(講談社選書メチエ 775)

野原 慎司 著
講談社

日本をはじめ多くの先進国では、人口減少が社会的課題となっている。発展途上国も出生率が低下する傾向にある。人口が経済学においてどう論じられてきたのか、その背景となる社会的理想は何かを思想史の手法で研究する。

読売新聞 2023/02/12

2022:11./ 339p
978-4-06-529749-0

¥2,310〔税込〕



9 784065 297490



孤独の俳句～「山頭火と放哉」名句110選～(小学館新書 431)

金子 兜太／又吉 直樹 著
小学館

心に沁みる“放浪の俳人”の名句を再発見。膨大な作品群から、種田山頭火の句を現代俳句の泰斗・金子兜太が、尾崎放哉の句を芸人・又吉直樹が厳選・解説する。「人間種田山頭火と尾崎放哉」を底本に、加筆・再編集。

読売新聞 2023/02/12

2022:11./ 253p
978-4-09-825431-6

¥1,045〔税込〕



9 784098 254316



しろばんば 改版(新潮文庫)

井上 靖 著
新潮社

野草の匂いと陽光のみなぎる、伊豆湯ヶ島の自然のなかで幼い魂はいかに成長していったか。著者自身の少年時代を描いた自伝小説。

読売新聞 2023/02/12

2004:5./ 583p
978-4-10-106312-6

¥935〔税込〕



9 784101 063126



その悩み、大胸筋で受けとめる～棚橋弘至の人生相談～

棚橋弘至 著
中央公論新社

八方塞がりの恋愛、上司からの圧、くよくよ迷う自分…。誰しも抱える悩みに新日本プロレスの“100年に一人の逸材”、棚橋弘至が全力で答える。読売新聞ウェブサイト『大手小町』連載を加筆修正、書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2023/02/12

2022:12./ 189p
978-4-12-005615-4

¥1,650〔税込〕



9 784120 056154



嗚呼戦艦武蔵～軍艦武蔵会会員の实録～

手塚正己 編
中央公論新社

沈没した戦艦武蔵から生還した乗組員 215 名が綴った証言録「嗚呼戦艦武蔵」「続!! 嗚呼戦艦武蔵」を完全復刻し収録。士官や下士官兵が体験した、「武蔵」の艦内生活や苛烈だった戦闘の実相を余すところなく伝える。

読売新聞 2023/02/12

2023:1./ 781p
978-4-12-005626-0

¥12,100〔税込〕



9 784120 056260



日本の保守とリベラル～思考の座標軸を立て直す～(中公選書 131)

宇野重規 著
中央公論新社

近年、日本政治において「保守」と「リベラル」という対立図式が語られることが多くなった。欧米の政治思想史を参照しつつ、近現代の日本に保守とリベラル、それぞれの系譜を辿って読み解く。

読売新聞 2023/02/12

2023:1./ 254p
978-4-12-110132-7

¥1,760〔税込〕



ここだけのお金の使いかた(中公文庫 あ 98-1)

アミの会 編
大崎梢、凶子慧、永嶋恵美、新津きよみ、原田ひ香、福田和代、松村比呂美 著
中央公論新社

7人の作家が“お金”にまつわる悲喜こもごもを描く短篇アンソロジー。新津きよみ「百万円分の無駄」、原田ひ香「一生遊んで暮らせる方法」、大崎梢「12万円わんこ」、福田和代「わらしべ長者のつくりかた」などを収録。

読売新聞 2023/02/12

2022:12./ 300p
978-4-12-207291-6

¥770〔税込〕



格差の起源～なぜ人類は繁栄し、不平等が生まれたのか～

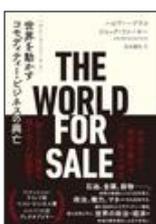
オデッド・ガロー／柴田 裕之 著
NHK出版

19世紀以降、社会は急激に繁栄に向かったが、それは世界の一部にとどまり、そのせいで著しい格差が生じた。統一成長理論に基づいて、成長と格差の謎を解明し、格差の軽減を助ける手掛かりを示す。

読売新聞 2023/02/12

2022:9./ 333p
978-4-14-081911-1

¥2,530〔税込〕



THE WORLD FOR SALE～世界を動かすコモディティー・ビジネスの興亡～

ハビアー・プラス／ジャック・ファーキー 著
日経BP社

世界の資源ビジネスを牛耳り、政治、権力、マネーをも左右する、謎に包まれたコモディティー商社。秀でた能力で世界政治・経済の構造変化の波に巧みに乗り、莫大な利益を獲得してきたトレーダーたちの歴史と現在を描き出す。

読売新聞 2023/02/12

2022:10./ 460p
978-4-296-11547-1

¥3,080〔税込〕



野ブタ。をプロデュース(河出文庫)

白岩 玄 著
河出書房新社

舞台は教室。プロデューサーは俺。イジメられっ子は、人気者になれるのか?!テレビドラマでも話題になった、あの学校青春小説を文庫化。六十八万部の大ベストセラーの第四十一回文藝賞受賞作。

読売新聞 2023/02/12

2008:10./ 201p
978-4-309-40927-6

¥495〔税込〕





若き日に薔薇を摘め(河出文庫 せ 5-4)

瀬戸内 寂聴／藤原 新也 著

河出書房新社

生と死、愛と孤独、老いと若さ、恋、仕事、家族、そして無縁社会…。来し方行く末に思いをめぐらしつつ、作家同士、旧知の2人が交わす叡智に満ちた29の往復書簡。対談も収録。

読売新聞 2023/02/12

2022:12./ 253p
978-4-309-41938-1

¥1,045 [税込]



<メンタルモンスター>になる。

長友 佑都 著

幻冬舎

重圧をエネルギーに変えれば、人生が変わる!4度目のW杯を目指す長友佑都が、激動のサッカー人生を振り返りながら、ネガティブをポジティブに変換するメンタルタフネスの極意を綴る。

読売新聞 2023/02/12

2022:11./ 205p
978-4-344-04048-9

¥1,650 [税込]



虹の涯

戸田 義長 著

東京創元社

筑波山で蹴起した天狗党の首領格・藤田小四郎は、攘夷の使命に燃える水戸藩士。父・東湖の死の真相や密室殺人の罠などを、漢方医・山川穂継と共に検めていき…。連作長編。「紙魚の手帖」掲載に書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2023/02/12

2022:11./ 251p
978-4-488-02888-6

¥1,870 [税込]



ウィンダム図書館の奇妙な事件(創元推理文庫 M ウ 26-1)

ジル・ペイトン・ウォルシュ 著

東京創元社

1992年2月の朝。ケンブリッジ大学の貧乏学寮の学寮付き保健師イモーゼンのもとに、学寮長が駆け込んできた。おかしな規約で知られる<ウィンダム図書館>で、テーブルの角に頭をぶつけた学生の死体が発見されて…。

読売新聞 2023/02/12

2022:11./ 307p
978-4-488-20008-4

¥1,100 [税込]



14歳からの生物学～学校では教えてくれない<ヒト>の科学～

サリー・ヒル 編

白水社

ウイルス感染や生活習慣病からいかに身を守り、衛生リテラシーを高めるか? オランダの学校で13歳から14歳向けとして使われている生物の教科書を邦訳。呼吸、栄養と消化、循環系、生殖について解説する。

読売新聞 2023/02/12

2020:9./ 234p
978-4-560-09774-8

¥3,080 [税込]





世界を変えた地図<上> 古代の粘土板から大航海時代、津波マップまで

ジョン・O・E・クラーク 編

原書房

知の集積であり、世界像(イメージ)の索引(インデックス)である「地図」。古代の粘土板、アポリジニの世界観、ナスカの地上絵、津波マップ、アフリカ分割図…。多彩な図版とともに地図と人間の営みを読み解く。

読売新聞 2023/02/12

2022:12./ 229p
978-4-562-07238-5

¥2,640〔税込〕



世界を変えた地図<下> ロンドン地下鉄からトールキンの中つ国まで

ジョン・O・E・クラーク 編

原書房

新しい発想と表現、印象操作、世界の舞台を描きこんだ記憶装置「地図」。北米先住民チカソー族の地図、日本の鎖国政策、英仏地図戦争、アーサー王とアヴァロン島…。多彩な図版とともに地図製作の歴史を解説する。

読売新聞 2023/02/12

2022:12./ 237p
978-4-562-07239-2

¥2,640〔税込〕



キッチンからカーネギー・ホールへ～エセル・スタークとモントリオール女性交響楽団～

マリア・ノリエガ・ラクウォル 著

ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス

オーケストラが女人禁制だった 1940 年代。カナダで自ら指揮棒を持ち、女性たちだけでオーケストラを立ち上げたエセル・スタークと、スタークによって結成されたモントリオール女性交響楽団の勇気と奮闘を綴る。

読売新聞 2023/02/12

2022:11./ 282p,20p
978-4-636-10271-0

¥2,530〔税込〕



ベルクソン思想の現在

檜垣立哉／平井靖史／平賀裕貴／藤田尚志／米田翼 著

書肆侃侃房

哲学者アンリ・ベルクソンの主著「時間と自由」「物質と記憶」「創造的進化」「道徳と宗教の二源泉」を、ベルクソン研究の精鋭たちが読み解く、白熱の徹底討議。トークイベントをもとに書籍化。座談会、ブックガイドも収録。

読売新聞 2023/02/12

2022:12./ 270p
978-4-86385-556-4

¥1,980〔税込〕



現代戦略論～大国間競争時代の安全保障～

高橋 杉雄 著

並木書房

世界で最も厳しい安全保障環境に置かれている日本。「大国間競争の時代」においてなお、日本が現状維持を実現するための新たな戦略「統合海洋縦深防衛戦略」を提唱する。

読売新聞 2023/02/12

2023:1./ 234p
978-4-89063-430-9

¥1,760〔税込〕





川瀬巴水探索～無名なる風景の痕跡をさがす～

川瀬巴水とその時代を知る会／染谷 智幸 編

文学通信

明治・大正・昭和の日本全国を旅して優れた風景画を手掛け、「旅情詩人」との高い評価を得た川瀬巴水。茨城を中心に、東京、小樽を探索し、その絵が実際に描かれた場所を紹介する。

読売新聞 2023/02/12

2022:11./ 159p
978-4-909658-90-6

¥2,090〔税込〕



出家～寂聴になった日～

長尾玲子 著

百年舎

流行作家・瀬戸内晴美は、なぜ51歳で出家し、「寂聴」になる道を選んだのか？血縁関係にあり、長年、秘書として瀬戸内文学に仕えた著者が、瀬戸内寂聴の出家の謎に迫る評伝小説。

読売新聞 2023/02/12

2022:11./ 296p
978-4-9912039-1-6

¥2,475〔税込〕



首ざむらい～世にも快奇な江戸物語～

由原 かのん 著

文藝春秋

叔父を訪ねて大坂へ向かった男の道づれは、首だけのサムライだった!? 『オール讀物』掲載を改題した表題作をはじめ、書き下ろしの「ねこまた」など、江戸時代を舞台にした、ちょっと不思議な人情奇譚4篇を収録。

読売新聞 2023/02/12、読売新聞 2023/02/26

2022:11./ 302p
978-4-16-391628-6

¥1,980〔税込〕



インド外交の流儀～先行き不透明な世界に向けた戦略～

S・ジャイシャンカル 著

白水社

不透明さを増しつつある世界において、インド外交が注目されている。インド外交の役割から今後の展開に至るまで、現役の外相が「インドならではの手法」の手の内を明かし、米中日を中心に変貌著しい国際関係の見取図を示す。

読売新聞 2023/02/12、日本経済新聞 2023/02/25

2022:11./ 252p,25p
978-4-560-09470-9

¥3,630〔税込〕



まぬけなこよみ(朝日文庫 つ17-4)

津村記久子 著

朝日新聞出版

初詣の帰り道に正月の終りを感じて絶望し、雛人形たちの人間関係を想像する。こたつ、花火、新蕎麦など風物詩にまつわる思い出を、芥川賞作家がのほほんと綴った歳時記エッセイ集。

読売新聞 2023/02/19

2023:1./ 294p
978-4-02-265083-2

¥979〔税込〕





陸奥と渡島～シリーズ地域の古代日本～(角川選書 656)

吉村 武彦／川尻 秋生／松木 武彦 編

KADOKAWA

東北地方には、古代の最後まで国郡制に組み込まれない地域が残り、「蝦夷」と呼ばれる独自の文化を持つ人々が存在していた。続縄文文化、前方後円墳と「蝦夷」の墓、多賀城・城柵…。豊かな蝦夷の世界を多方面から解明する。

読売新聞 2023/02/19

2022:6./ 280p
978-4-04-703694-9

¥2,530〔税込〕



東国と信越～シリーズ地域の古代日本～(角川選書 657)

吉村 武彦／川尻 秋生／松木 武彦 編

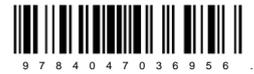
KADOKAWA

圧倒的な軍事力を持ち、ヤマト王権にとって重要な地域であった東国について、考古学・歴史学の研究成果を反映しながらわかりやすく解説。斬新な切り口で古代東国地域の実像に迫る。東国・信越の古代史関係施設なども収録。

読売新聞 2023/02/19

2022:4./ 316p
978-4-04-703695-6

¥2,530〔税込〕



東アジアと日本～シリーズ地域の古代日本～(角川選書 655)

吉村 武彦／川尻 秋生／松木 武彦 編

KADOKAWA

中国大陸・朝鮮半島の影響を強く受け、国づくりを実施した倭国・日本。古墳造り、仏教の伝来など、古代の基本的テーマを選び、最新の研究を紹介。また今日の課題とも関わる、災害とジェンダーについて歴史的に解き明かす。

読売新聞 2023/02/19

2022:2./ 264p
978-4-04-703696-3

¥2,420〔税込〕



畿内と近国～シリーズ地域の古代日本～(角川選書 658)

吉村 武彦、川尻 秋生、松木 武彦 編

KADOKAWA

畿内の駅家と駅路の特徴とは？長屋王家木簡には何が書いてあるのか？巨大な前方後円墳が集まる政治と文化の発信地・古代畿内の知られざる実態を、発掘成果や文献史料を駆使して明らかにする。

読売新聞 2023/02/19

2023:1./ 268p
978-4-04-703697-0

¥2,530〔税込〕



出雲・吉備・伊予～シリーズ地域の古代日本～(角川選書 659)

吉村 武彦／川尻 秋生／松木 武彦 編

KADOKAWA

古代より中国・四国地方は、九州と近畿とをつなぐ回廊だった。古墳や国府のような列島共通のテーマと、弥生墳丘墓、鉄生産、古代山城など地域に顕著なテーマとを往復しながら、日本列島古代の歴史像を多面的に浮き彫りにする。

読売新聞 2023/02/19

2022:8./ 264p
978-4-04-703698-7

¥2,530〔税込〕





筑紫と南島～シリーズ地域の古代日本～(角川選書 660)

吉村 武彦／川尻 秋生／松木 武彦 編

KADOKAWA

日本列島の先進地域と呼ばれた「筑紫」。筑紫諸国を管轄し、外交使節の接待を担った大宰府と鴻臚館、宗像大社の祭祀の中心として信仰されてきた沖ノ島、独自文化を持つ南島など、豊かな九州地域の古代の全貌を明らかにする。

読売新聞 2023/02/19

2022:2./ 262p
978-4-04-703699-4

¥2,420〔税込〕



OUT<上>(講談社文庫)

桐野 夏生 著

講談社

ごく普通の主婦であった彼女たちがなぜ仲間の夫の死体をバラバラにしたのか!? 深夜の弁当工場働く主婦たちは、それぞれの胸の内に得体の知れない不安と失望を抱えていた。犯罪小説の到達点!

読売新聞 2023/02/19

2002:6./ 446p
978-4-06-273447-9

¥924〔税込〕



OUT<下>(講談社文庫)

桐野 夏生 著

講談社

主婦ら4人の結末は、友情からだけではなく、負の力によるものだった。その結びつきは容易に解け、バランスを欠いていく。しかし動き出した歯車は止まることなく、ついに第二の死体解体を請け負うはめになる。

読売新聞 2023/02/19

2002:6./ 340p
978-4-06-273448-6

¥792〔税込〕



コミックマーケットへようこそ～準備するから準備会～(星海社新書 243)

おーちようこ 著

星海社

最大参加者数のべ75万人、ボランティアスタッフ3000人、開催100回を数える世界最大級の同人誌即売会「コミックマーケット」。その準備会の共同代表者や関係者、コミケを支える多くの人の想いを完全紹介する。

読売新聞 2023/02/19

2022:12./ 314p
978-4-06-530044-2

¥1,320〔税込〕



天使の卵(エンジェルス・エッグ)(集英社文庫)

村山 由佳 著

集英社

そのひとの横顔はあまりにも清冽で、凜としていた。19歳の予備校生の“僕”は、8歳年上の女医にひと目惚れ。日ごとに想いは募るばかり…。第6回小説すばる新人賞受賞作。

読売新聞 2023/02/19

1996:6./ 214p
978-4-08-748492-2

¥429〔税込〕





笑犬楼 vs. 偽伯爵

筒井 康隆／蓮實 重彦 著

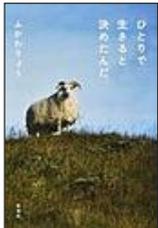
新潮社

筒井康隆と蓮實重彦、2歳違いの巨匠ふたりが、遂に出会って胸襟を開いた魅惑の対話と往復書簡を収録。互いの作品評も掲載する。『新潮』『群像』など掲載に書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2023/02/19

2022:12./ 173p
978-4-10-314535-6

¥1,650〔税込〕



ひとりで生きると決めたんだ

ふかわ りょう 著

新潮社

それは覚悟なのか、諦めなのか。誰もが素通りする場所で足を止め、「どうでもいいこと」の向こう側で自分だけの「いいね」を見つける。48歳のふかわりょうが不器用な日常を綴る。

読売新聞 2023/02/19

2022:11./ 218p
978-4-10-353792-2

¥1,540〔税込〕



サイコーサウナ

五箇 公貴 著

文藝春秋

ドラマ「サ道」プロデューサーによる、心も体もサイコーにととのう全国サウナガイド。サイコーサウナを誕生させた経営者たちの熱すぎる人生も紹介する。『文春オンライン』連載に加筆修正。

読売新聞 2023/02/19

2023:1./ 237p
978-4-16-391639-2

¥1,760〔税込〕



眠れる美女たち<上>(文春文庫 キ 2-67)

スティーヴン・キング、オーウェン・キング 著

文藝春秋

ひとたび眠りにつくと、繭状の白い物質に覆われ、目覚めなくなる。女性にしか災いしない「オーロラ病」はやがて世界中で発生する。恐怖でパニックに陥る人々。しかし、病を恐れる様子もなく静観する“謎の女”がいた…。

読売新聞 2023/02/19

2023:1./ 647p
978-4-16-791992-4

¥1,749〔税込〕



眠れる美女たち<下>(文春文庫 キ 2-68)

スティーヴン・キング、オーウェン・キング 著

文藝春秋

女たちは廃墟のような異世界で目覚め、生き延びるための結託が試みられる。一方、彼女たちの肉体が眠り続ける現実世界では、男たちの恐怖と不安が渦巻いていた。女たちの体を焼いてしまおうとする者も出てきて…。

読売新聞 2023/02/19

2023:1./ 620p
978-4-16-791993-1

¥1,749〔税込〕





ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい(河出文庫 お45-1)

大前 粟生 著
河出書房新社

僕もみんなみたいに恋愛を楽しめたらいいのに。大学生の七森は“男らしさ”“女らしさ”のノリが苦手。こわがらせず、侵害せず、誰かと繋がれるのかな？ 鋭敏な感性が光る小説4篇を収録。2023年4月公開同名映画の原作。

読売新聞 2023/02/19

2023:1./ 190p
978-4-309-41935-0

¥748〔税込〕



人類の物語～ヒトはこうして地球の支配者になった～

ユヴァル・ノア・ハラリ、リカル・ザプラナ・ルイズ 著
河出書房新社

人間はライオンより強かった！日本人のご先祖さまはアフリカ出身！大昔にはいろいろな種類の人間がいた！人類の歴史をたどり、祖先が手にいれた、地球を支配できるほどのスーパーパワーの秘密を明らかにする。

読売新聞 2023/02/19

2022:11./ 165p
978-4-309-62931-5

¥1,760〔税込〕



もっと素晴らしきお菓子缶の世界

中田ぶう 著
光文社

猫缶から動物缶、クールなデザイナーズ缶、渋い武将缶まで、500缶以上のお菓子缶にまつわるストーリーを紹介した、“缶マニア”による偏愛カタログ。森永製菓などの史料室に眠る貴重なヴィンテージ缶も公開する。

読売新聞 2023/02/19

2023:1./ 143p
978-4-334-95356-0

¥1,815〔税込〕



キャラは自分で作る～どんな時代になっても生きるチカラを～(幻冬舎新書 い-40-1)

泉谷 しげる 著
幻冬舎

本当は臆病で小心者だけど、孫悟空に憧れて暴れん坊キャラで生き抜いてきたミュージシャン、泉谷しげるが、生きることが困難な時代だからこそ「キャラで生き抜け！」と叱咤激励する。

読売新聞 2023/02/19

2023:1./ 191p
978-4-344-98680-0

¥968〔税込〕



ひとりだから楽しい仕事～日本と韓国、ふたつの言語を生きる翻訳家の生活～

クオン・ナミ 著
平凡社

人生という果てのない荒野を、軽やかにスキップしながら切り拓いていく。村上春樹、三浦しをん、益田ミリ作品など300冊以上の日本文学を翻訳した韓国の人気翻訳家がユーモアたっぷりにつづる日常エッセイ。

読売新聞 2023/02/19

2023:1./ 233p
978-4-582-83916-6

¥2,640〔税込〕





樋口一葉詳細年表

伊藤氏貴／能地克宜 編
勉誠出版

日本初の女性職業作家、樋口一葉。24年の短い生涯の中で一葉が残した膨大な量の日記を丹念に追い、日々の出来事や交流関係、作品に対する思いを年表にまとめる。一葉の生活圏を網羅した地図、一葉の和歌・着物なども紹介。

読売新聞 2023/02/19

2022:10./ 4p,590p 図版
11枚
978-4-585-30007-6
¥16,500〔税込〕



悪意の科学～意地悪な行動はなぜ進化し社会を動かしているのか？～

サイモン・マッカーシー＝ジョーンズ 著
合同出版

人間の心の闇にひそむ悪意は、なぜ進化し、社会を動かしているのか？悪意にかんする多様な研究の最新成果を駆使し、身近なエピソードを織り交ぜながら、その謎に迫り、悪意の思わぬ効能や利点を解き明かす。

読売新聞 2023/02/19

2023:1./ 269p
978-4-7726-9578-7
¥2,420〔税込〕



「未来」とは何か～1秒先から宇宙の終わりまでを見通すビッグ・クエスチョン～

デイビッド・クリスチャン 著
ニュースピックス

微生物や動植物、人間は、未来や時代をどう受け止め、どうやって過去から未来を予想するのか。新学問「ビッグヒストリー」を提唱する歴史学者が、宇宙物理学、生物学、脳科学等の最新知見を総動員。「未来」の謎を解き明かす。

読売新聞 2023/02/19

2022:12./ 405p
978-4-910063-25-6
¥2,860〔税込〕



サイボーグになる～テクノロジーと障害、わたしたちの不完全さについて～

キム・チョヨプ／キム・ウォニョン 著
岩波書店

不完全さを抱えたままで、よりよく生きていくための技術とは？SF作家キム・チョヨプと、作家・弁護士・パフォーマーのキム・ウォニョン。ともに障害当事者である2人が、私たちの身体性とテクノロジーについて縦横に語る。

読売新聞 2023/02/26

2022:11./ 15p,299p
978-4-00-061567-9
¥2,970〔税込〕



おれがあいつであいつがおれで(角川文庫)

山中 恒 著
角川書店

斉藤一夫は小学六年生。ある日クラスに転校してきた斉藤一美という女の子は、幼稚園の幼なじみのやっかいな子。ひょんなことからある日、一夫の体に一美の心が、一美の体に一夫の心が入って戻らなくなった！

読売新聞 2023/02/26

2007:5./ 214p
978-4-04-141703-4
¥523〔税込〕



三毛猫ホームズの推理(角川文庫)

赤川 次郎 著

角川書店

時々物思いにふける癖のあるユニークな猫、ホームズ。血、アルコール、女性と三拍子そろってニガテな独身刑事、片山。二人のまわりには事件がいっぱい。三毛猫シリーズの記念すべき第一弾。

読売新聞 2023/02/26

1984:4./ 358p
978-4-04-149781-4

¥704〔税込〕



異邦の騎士 改訂完全版(講談社文庫)

島田 荘司 著

講談社

失われた過去の記憶が浮かび上がり、男は戦慄する。自分は本当に愛する妻子を殺したのか。やっと手にした幸せな生活に忍び寄る新たな魔手。名探偵・御手洗潔の最初の事件を描いた傑作ミステリー『異邦の騎士』に著者が精魂こめて全面加筆した改訂完全版。

読売新聞 2023/02/26

1998:3./ 451p
978-4-06-263770-1

¥880〔税込〕



46番目の密室(講談社文庫)

有栖川 有栖 著

講談社

日本のディクソン・カーと称され、45に及ぶ密室トリックを発表してきた推理小説の大家、真壁聖一。クリスマス、北軽井沢にある彼の別荘に招待された客たちは、作家の無残な姿を目の当たりにする。彼は自らの46番目のトリックで殺されたのか。火村&有栖川シリーズ第1作!

読売新聞 2023/02/26

2009:8./ 428p
978-4-06-276427-8

¥803〔税込〕



ピエタとトランジ(講談社文庫 ふ 83-2)

藤野 可織 著

講談社

天才的な頭脳を持つ女子高生探偵トランジと、助手に名乗り出たピエタ。トランジは事件を誘発させる体質で、次から次に周囲で人が死んでいく。あるとき、トランジに秘められた事実が明らかになり-

読売新聞 2023/02/26

2022:10./ 330p
978-4-06-529580-9

¥792〔税込〕



ミシェル・フーコー〜権力の言いなりにならない生き方〜(講談社現代新書 現代新書 100 2690)

箱田 徹 著

講談社

社会と自己を説明することと、それを変えることとはどういう関係にあるのか? 権力をめぐるフーコーの議論のポイントを明らかにしたうえで、権力論が統治と主体という概念を組み込んで大きく展開していくようすを描き出す。

読売新聞 2023/02/26

2022:12./ 104p
978-4-06-530458-7

¥880〔税込〕





マスカレード・ホテル(集英社文庫 ひ 15-10)

東野 圭吾 著
集英社

不可解な連続殺人事件。次の犯行現場に予告されたのは、都内の超一流ホテルだった。ホテルマンに化けて潜入捜査に就くことになった若き刑事・新田浩介と、彼を教育するフロントクラーク・山岸尚美は、真相に辿り着けるのか？

読売新聞 2023/02/26

2014:7./ 515p
978-4-08-745206-8

¥836〔税込〕



すべてあなたのためだから(小学館文庫 た 38-2)

武内 昌美 著
小学館

良子は夫と小4の娘と暮らす平凡な主婦。ある日、憧れのセレブママ友に勧められ中学受験に挑むことに。だが娘の学力が開花したがゆえに、ある悲劇を呼び寄せてしまい…。暴走する母の愛をリアルに描く。

読売新聞 2023/02/26

2023:2./ 316p
978-4-09-407227-3

¥770〔税込〕



謎解きはディナーのあとで<1>(小学館文庫 ひ 11-1)

東川 篤哉 著
小学館

お嬢様刑事・宝生麗子の推理力のなさを毒舌で指摘しつつも、執事・影山は鮮やかに難解な事件の謎を解き明かしていく！書き下ろしショートショート「宝生家の異常な愛情」も収録。2013年夏公開映画の原作。

読売新聞 2023/02/26

2012:10./ 348p
978-4-09-408757-4

¥814〔税込〕



日本史を暴く～戦国の怪物から幕末の闇まで～(中公新書 2729)

磯田道史 著
中央公論新社

明智光秀が織田信長を欺けた理由、赤穂浪士が「吉良の首」で行った奇妙な儀式、漏洩していた孝明天皇の病床記録…。古文書と格闘し続ける著者が戦国、江戸、幕末の「歴史の裏側」を明らかにする。『読売新聞』連載を加筆修正。

読売新聞 2023/02/26

2022:11./ 6p,237p
978-4-12-102729-0

¥924〔税込〕



徹底討論!問われる宗教と“カルト”(NHK出版新書 692)

島 蘭 進／釈 徹宗／若松 英輔／櫻井 義秀／川島 堅二／小原 克博 著
NHK出版

人を救うはずの宗教と“カルト”との境界はどこにあるのか。政治と宗教の関わり方にある“歪み”とは。研究者・宗教者6人が、宗教と社会・政治・人間の「これから」を論じる。NHK-E テレの番組をもとに書籍化。

読売新聞 2023/02/26

2023:1./ 169p
978-4-14-088692-2

¥913〔税込〕





秘密機関<上>(クリスティー・ジュニア・ミステリ)

アガサ・クリスティー 著

早川書房

おさななじみの名コンビ、トミーとタペンスが巻きこまれたのは、戦争中に消えてしまった重要書類の争奪戦。書類をねらう謎めいた悪の組織のボス、正体不明の怪人ブラウンを向こうにまわして、胸おどる大冒険がはじまった!

読売新聞 2023/02/26

2008:3./ 238p
978-4-15-208902-1

¥1,650 [税込]



秘密機関<下>(クリスティー・ジュニア・ミステリ)

アガサ・クリスティー 著

早川書房

ますます激しくなる重要書類争奪戦。敵に捕まっていたトミーが脱出したと思ったら、今度はタペンスが敵の手に!悪の組織のボス、謎の怪人ブラウンとの対決も迫る。元気いっぱいの名コンビが挑む、冒険また冒険の大活劇!

読売新聞 2023/02/26

2008:3./ 221p
978-4-15-208903-8

¥1,650 [税込]



クリスマスの思い出

トルーマン・カポーティ 著

文藝春秋

従姉のスックと犬のクイーニーとのささやかなクリスマス。画と文とが共に語りかける、カポーティの幼い日の思い出シリーズ最終作

読売新聞 2023/02/26

1990:11./ 79p
978-4-16-312210-6

¥1,728 [税込]



陰陽師(文春文庫)

夢枕 獏 著

文芸春秋

死霊、生霊、鬼などが人々の身近で跋扈した平安時代。陰陽師安倍晴明は従四位下ながら天皇の信任は厚い。親友の源博雅と組み、幻術を駆使して挑むこの世ならぬ難事件の数々。

読売新聞 2023/02/26

1991:2./ 333p
978-4-16-752801-0

¥715 [税込]



ボーン・コレクター<上>(文春文庫)

ジェフリー・ディーヴァー 著

文芸春秋

首から下が麻痺した元刑事で科学捜査のプロと彼の目、鼻、手足となる女巡査が稀代の殺人鬼を追う。傑作ジェットコースターミステリ

読売新聞 2023/02/26

2003:5./ 373p
978-4-16-766134-2

¥814 [税込]





ボーン・コレクター<下>(文春文庫)

ジェフリー・ディーヴァー 著
文芸春秋
読売新聞 2023/02/26

2003:5./ 363p
978-4-16-766135-9
¥814〔税込〕



アマルティア・セン回顧録<上> インドでの経験と経済学への目覚め

アマルティア・セン 著
勁草書房

イギリス領インドで生まれ、ノーベル経済学賞を受賞した経済学者・哲学者、アマルティア・センの回顧録。上は、原点となる少年時代の体験から大学で最先端の経済学に出会うまでを、独特のユーモアを交えて語る。

2022:12./ 16p,264p,10p
978-4-326-55089-0
¥2,970〔税込〕



読売新聞 2023/02/26



アマルティア・セン回顧録<下> イギリスへ、そして経済学の革新へ

アマルティア・セン 著
勁草書房

イギリス領インドで生まれ、ノーベル経済学賞を受賞した経済学者・哲学者、アマルティア・センの回顧録。下は、イギリス留学から厚生経済学という新たな学問を切り開いていくまでを、独特のユーモアを交えて語る。

2022:12./ 5p,270p,14p
978-4-326-55090-6
¥2,970〔税込〕



読売新聞 2023/02/26



全 201 カ国&地域おうちで作れる世界のおやつ

本山尚義 著
廣済堂出版

珍しいおやつが身近な材料で気軽に作れる! フィンランド共和国の星形パイ、ブータン王国の揚げクッキーなど、全 201 カ国&地域のおやつレシピを紹介。おやつの由来やその国の食文化がわかるミニ解説付き。

2022:12./ 230p
978-4-331-52382-7
¥1,760〔税込〕



読売新聞 2023/02/26



ジジイの台所

沢野 ひとし 著
集英社クリエイティブ

人は台所によって頭を、そして心を育てる。だからジジイは台所に魅せられる。台所で過ごす時間が、かけがえのないものになるイラストエッセイ 17 編&19 のコラムを収録する。「ジジイの片づけ」に続く第 2 弾。

2022:11./ 189p
978-4-420-31099-4
¥1,760〔税込〕



読売新聞 2023/02/26



米国防総省・人口統計コンサルタントの人類超長期予測～80億人の地球は、人口減少の未来に向かうのか～

ジェニファー・D・シュバ 著
ダイヤモンド社

貧富、高齢化、食糧問題…。世界の難題の裏に“人口”がある。米国防総省の人口統計コンサルタントとして活躍した著者が、戦略的、政治的、経済的視点から、地球の未来を人口統計データを使って読み解く。

読売新聞 2023/02/26

2022:12./ 379p
978-4-478-10706-5

¥1,980〔税込〕



生きていく絵～アートが人を<癒す>とき～(ちくま文庫 あ66-1)

荒井 裕樹 著
筑摩書房

精神科病院のなかにひらかれた「造形教室」に集う人々。彼らの貴重な活動に寄り添いながら、アートを通じた自己表現によって自らを「癒し」ていくことの意味や可能性について考える。

読売新聞 2023/02/26

2023:1./ 267p
978-4-480-43856-0

¥990〔税込〕



在日韓国人になる～移民国家ニッポン練習記～

林晟一 著
CCCメディアハウス

外国人店員をディスる客。それを見て見ぬふりする、在日コリアン3世の私…。<国民>になりきれない半分アウトサイダーの著者が移民国家ニッポンの歩みをたどり、希望を描き出す。

読売新聞 2023/02/26

2022:12./ 302p
978-4-484-22229-5

¥1,870〔税込〕



冷戦終焉期の日米関係～分化する総合安全保障～

山口 航 著
吉川弘文館

総合安全保障とは何か。日米の政府機密解除文書や当事者への聞き取りに基づき、大平正芳・鈴木善幸・中曽根康弘政権とカーター・レーガン政権の政治外交過程を再現。当該期の日米同盟を多層性と多様性の概念を用いて論じる。

読売新聞 2023/02/26

2023:1./ 7p,369p,10p
978-4-642-03922-2

¥9,900〔税込〕



連続殺人鬼カエル男(宝島社文庫 Cな-6-2)

中山 七里 著
宝島社

読売新聞 2023/02/26

2011:2./ 411p
978-4-7966-8089-9

¥660〔税込〕





国際法を編む～国際連盟の法典化事業と日本～

高橋 力也 著

名古屋大学出版会

大国中心の法創造プロセスに風穴をあけた国際連盟の法典化事業。日本の積極的貢献を軸に、ハーグ会議の意義を再評価、国益の追求にとどまらない法律家の実像を活写し、国際法の歴史を外交史的アプローチもふまえて描き直す。

読売新聞 2023/02/26

2023:1./ 7p,480p,55p
978-4-8158-1111-2

¥9,900〔税込〕



未来倫理(集英社新書 1148)

戸谷 洋志 著

集英社

気候変動、放射性廃棄物の処理、生殖細胞へのゲノム編集…。現在世代は未来世代に対して倫理的責任をどのように考え、どのように実践したらよいか。倫理学の各理論を手掛かりに、未来倫理について解説する。

日本経済新聞 2023/02/04

2023:1./ 233p
978-4-08-721248-8

¥1,034〔税込〕



山椒魚 改版(新潮文庫)

井伏 鱒二 著

新潮社

本書は初期の短編より代表作を収める短編集である。岩屋の中に棲んでいるうちに体が大きくなり、外へ出られなくなった山椒魚の狼狽、かなしみのさまをユーモラスに描く処女作「山椒魚」、大空への旅の誘いを抒情的に描いた「屋根の上のサワン」ほか、「朽助のいる谷間」など12編。

日本経済新聞 2023/02/04

1996:2./ 270p
978-4-10-103402-7

¥539〔税込〕



シーシュポスの神話 改版(新潮文庫)

カミュ 著

新潮社

本書はこのギリシア神話に寓してその根本思想である“不条理の哲学”を理論的に展開追究したもので、カミュの他の作品ならびに彼の自由の証人としてのさまざまな発言を根底的に支えている立場が明らかにされている。

日本経済新聞 2023/02/04

2006:9./ 257p
978-4-10-211402-5

¥693〔税込〕



文学は予言する(新潮選書)

鴻巣 友季子 著

新潮社

トランプ政権誕生で再びブームとなったディストピア小説、ギリシャ神話から18世紀の「少女小説」まで共通する性加害の構造…。危機の時代を映し出す世界文学の最前線を読み解く。『朝日新聞』『新潮』ほか掲載を書籍化。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:12./ 290p,9p
978-4-10-603893-8

¥1,760〔税込〕





竜馬がゆく<1>

司馬 遼太郎／鈴木木ユウ 著

文藝春秋

12歳、「坂本の寝小便ったれ」とからかわれ泣かされる。字を満身に覚えられず寺子屋の師匠に見捨てられる。そんな竜馬だが母の死を受け入れることをきっかけに強い男へと変わっていく。17歳、強くなった竜馬と武市半平太、岡田以蔵との出会い—そして江戸へ。

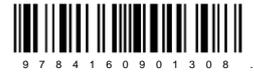
日本経済新聞 2023/02/04

2022:8./1冊(ページ付

なし)

978-4-16-090130-8

¥748〔税込〕



9 7 8 4 1 6 0 9 0 1 3 0 8



「神様」のいる家で育ちました〜宗教2世な私たち〜

菊池 真理子 著

文藝春秋

親が宗教を信仰している家の子供「宗教2世」。宗教ありきで育てられ、世間とはずいぶん違う生活を送っています。著者を含む7人の宗教2世たちが育ってきた家庭を描いたノンフィクションコミック。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:10./138p

978-4-16-090134-6

¥1,100〔税込〕



9 7 8 4 1 6 0 9 0 1 3 4 6



小さな場所(文春文庫 ひ27-3)

東山 彰良 著

文藝春秋

台北の紋身街は、世界中のどの街にも必ず1本はあるだろう小汚くて猥雑な通り。不思議な大人たちに囲まれて「ぼく」はそこで生きる…。台湾の原風景を少年の目で綴った連作集。

日本経済新聞 2023/02/04

2023:1./269p

978-4-16-791988-7

¥803〔税込〕



9 7 8 4 1 6 7 9 1 9 8 8 7



ショパン〜プリンス・オブ・ザ・ロマンティックス〜

アダム・ザモイスキ 著

音楽之友社

ジョルジュ・サンドとの愛憎の生活、リストなどとの密度の濃い交流とショパンの立ち位置…。一次資料を駆使してなされる「非神話化」の手法で、ショパンを社会、政治、貴族を中心とした人間関係の中でとらえ、その生涯を描く。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:10./287p

978-4-276-21007-3

¥3,960〔税込〕



9 7 8 4 2 7 6 2 1 0 0 7 3



海苔と卵と朝めし〜食いしん坊エッセイ傑作選〜

向田 邦子 著

河出書房新社

ちいさなこだわり、忘れられない味。向田邦子の食いしん坊エッセイ傑作選。「思出の食卓」「ウチの手料理」「日々の味」「旅の愉しみ」など6章からなる全29篇のエッセイと、「寺内貫太郎一家」より小説1篇を収録する。

日本経済新聞 2023/02/04

2018:12./248p

978-4-309-02765-4

¥1,815〔税込〕



9 7 8 4 3 0 9 0 2 7 6 5 4



中国全史～6000年の興亡と遺産～<上>

マイケル・ウッド 著

河出書房新社

神話時代の都は世界帝国へ-。BBC で多くのドキュメンタリー作品を手がけたイギリスの歴史家・映像作家が、現地取材により中国全史を描く。上は、先史時代、始皇帝の登場、唐の栄華、モンゴル人の征服王朝などを収録。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:11./ 301p,15p
978-4-309-22869-3

¥3,630〔税込〕



中国全史～6000年の興亡と遺産～<下>

マイケル・ウッド 著

河出書房新社

復活した超大国のゆくえ-。BBC で多くのドキュメンタリー作品を手がけたイギリスの歴史家・映像作家が、現地取材を基に中国全史を描く。下は、明・清王朝、列強の侵略、革命と内戦、習近平の時代などを収録。

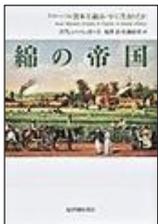
日本経済新聞 2023/02/04

2022:11./ 302p,46p 図

版 16p

978-4-309-22870-9

¥3,960〔税込〕



綿の帝国～グローバル資本主義はいかに生まれたか～

スヴェン・ベッカート 著

紀伊國屋書店出版部

綿の歴史は資本主義の歴史であり、常に暴力と強制を伴っていた-。約5千年前のインドで作り始められた綿糸や綿布。5大陸にわたる綿とそれに関わる人々の歩んだ道をたどり、現代世界の成り立ちと資本主義の本質を追究する。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:12./ 848p
978-4-314-01195-2

¥4,950〔税込〕



ひなげし雨竜剣<1>(KJC)

坂岡真 著

光文社

暴力、脅しに拐かしー市井を脅かす悪党を朝比奈結之助が斬る。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:5./ 192p
978-4-334-80839-6

¥770〔税込〕



本多静六～若者よ、人生に投資せよ～

北 康利 著

実業之日本社

日本初の林学博士として、日比谷公園、明治神宮の杜を造林し、大投資家として巨億の財産を築き、後年、資産を若き世代を育てる礎とした本多静六。その功績と生涯をたどる。『ひふみラボ note』連載配信を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:9./ 437p
978-4-408-53810-5

¥2,200〔税込〕





反脆弱性～不確実な世界を生き延びる唯一の考え方～<上>

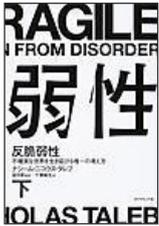
ナシーム・ニコラス・タレブ、望月 衛、千葉 敏生 著
ダイヤモンド社

「万にひとつ」が、明日来る。経済、金融から、人生、愛まで、この世界で私たちはいかに生きるべきか。すべてに使える思考のものさし「脆弱/頑健/反脆弱」をもとに解き明かす。

日本経済新聞 2023/02/04

2017:6./ 410p
978-4-478-02321-1

¥2,200〔税込〕



反脆弱性～不確実な世界を生き延びる唯一の考え方～<下>

ナシーム・ニコラス・タレブ、望月 衛、千葉 敏生 著
ダイヤモンド社

「絶対ない」は、絶対ない。国家、社会の行く末から、生き残る仕事、学ぶべき知識まで、私たちはこれからどう生きるべきか。万物に通じる思考のものさし「脆弱/頑健/反脆弱」をもとに解き明かす。

日本経済新聞 2023/02/04

2017:6./ 422p
978-4-478-02322-8

¥2,200〔税込〕



ピーター・リンチの株の法則～90秒で説明できない会社には手を出さな～

ピーター・リンチ、平野 誠一 著
ダイヤモンド社

運用資産を777倍に育てた伝説のNo.1ファンド・マネジャーが教える、勝つための戦略。13年間にわたり銘柄選択のたびに書き留めていた膨大なメモから明らかになった「リンチ・メソッド」を公開する。

日本経済新聞 2023/02/04

2015:2./ 365p
978-4-478-02840-7

¥1,980〔税込〕



20歳のときに知っておきたかったこと 新版(スタンフォード大学集中講義)

ティナ・シーリグ/三ツ松 新 著
CCCメディアハウス

将来、胸を張って話せるように、いま、自分の物語を紡ごう! 常識を疑うこと、チャレンジすること、リスクを恐れないことについて、あらゆる事例を使いながらその重要性を説く。新たに2章加えた新版。

日本経済新聞 2023/02/04

2020:11./ 285p
978-4-484-20107-8

¥1,650〔税込〕



なぜではなく、どんなふうに(海外文学セレクション)

アリアンナ・ファリネッリ 著
東京創元社

差別が横行し、分断化が進むアメリカ。仕事と家庭の板挟みに苦しむ、学者で妻で母のブルーナ42歳と、20歳の教え子のムスリム青年。彼らの誇りと情熱がすべてを覆す…。現代を生きる人に贈る哲学的な物語。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:12./ 318p
978-4-488-01684-5

¥2,530〔税込〕





人類学者 K～ロスト・イン・ザ・フォレスト～

奥野 克巳 著

亜紀書房

ボルネオ島のジャングルに生きる狩猟民プナンは、未来や過去の観念を持たず、死者のあらゆる痕跡を消し去り生きている。圧倒的に異なる価値観に魅せられ、Kは彼らの世界観の中心へと迫り…。スリリングなフィールド体験記。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:12./ 215p
978-4-7505-1778-0

¥1,870〔税込〕



庭仕事の愉しみ(草思社文庫 へ 1-1)

フォルカー・ミヒェルス 編

ヘルマン・ヘッセ 著

草思社

庭仕事は瞑想である。草花や樹木が教えてくれる生命の秘密。文豪ヘッセが庭仕事を通して学んだ「自然と人生」の叡知を詩とエッセイに綴る。自筆水彩画を多数挿入。

日本経済新聞 2023/02/04

2011:6./ 382p
978-4-7942-1834-6

¥1,100〔税込〕



バブルの歴史～チューリップ恐慌からインターネット投機へ～

エドワード・チャンセラー 著

日経 B P 社

通貨危機、株式市場のバブルと破裂、デリバティブによる巨額損失など金融関連のニュースの裏側に見え隠れする投機家の姿。17世紀のオランダから、20世紀の日本、アメリカまで、金融投機の波乱万丈の世界史を描く。

日本経済新聞 2023/02/04

2000:4./ 581p
978-4-8222-4181-0

¥2,640〔税込〕



道徳感情論(NIKKEI BP CLASSICS)

アダム・スミス 著

日経 B P 社

アダム・スミス最初の著作である「道徳感情論」の新訳。「国富論」に先立って「経済学の父」が構想した「共感」原理に基づく道徳哲学の全貌。

日本経済新聞 2023/02/04

2014:4./ 754p
978-4-8222-5000-3

¥3,520〔税込〕



Dark Horse～「好きなことだけで生きる人」が成功する時代～

トッド・ローズ／オギ・オーガス 著

三笠書房

「ダークホース(型破りな成功をした人)」の最大の共通点とは。多くの「ダークホース」へのインタビューをもとに、何歳からでも才能が開花する「最高の人生」をつくる科学的な方法を伝える。

日本経済新聞 2023/02/04

2021:8./ 318p
978-4-8379-5807-9

¥1,760〔税込〕





現代の奴隷～身近にひそむ人身取引ビジネスの真実と私たちにできること～

モニーク・ヴィラ 著

英治出版

現代の東京の路上で。灼熱のカタールで…。日常を奪われ「奴隷」とされた人たちの想像を絶するストーリーを軸に、世界 5000 万人、数十兆円規模のグローバル闇産業の実態といま企業・個人に求められる行動を語る。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:12./ 301p
978-4-86276-316-7

¥2,640〔税込〕



ウクライナ戦争と激変する国際秩序

森本 敏／秋田 浩之／小泉 悠／高橋 杉雄／倉井 高志／小谷 哲男／長島 純／水無月 嘉人／小山 堅／佐藤 丙午／小原 凡司 著

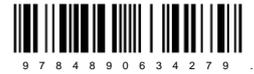
並木書房

第2次世界大戦後、最大級の戦争となったウクライナ戦争は世界をどう変えるのか？ロシアによる侵略戦争の行方と世界にもたらす衝撃について、米国と NATO、安全保障から台湾有事まで、さまざまな角度で専門家が解説する。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:11./ 406p
978-4-89063-427-9

¥2,970〔税込〕



植物考

藤原辰史 著

生きのびるブックス

人間は植物より高等なのか？植物のふるまいに目をとめ、歴史学、文学、哲学、芸術を横断しながら人間観を一新する、スリリングな思考の探検。『はるとあき』および、生きのびるブックスのウェブマガジンの連載を加筆修正。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:11./ 232p
978-4-910790-07-7

¥2,200〔税込〕



1.5℃の気候危機～脱炭素で豊かな経済、ネットゼロ社会へ～(知の新書 environment G03)

松下 和夫 著

読書人

気候危機が現実化するなか、脱炭素市場をめぐる大競争が始まっている。世界に遅れをとっている日本の気候対策のガラパゴス化を世界の動きから検証し、脱炭素への経済・社会の抜本的転換を訴える。

日本経済新聞 2023/02/04

2022:11./ 191p
978-4-924671-72-0

¥1,430〔税込〕



植物少女

朝比奈秋 著

朝日新聞出版

植物状態になった母とその娘。成長するにつれ、母の存在も大きく変化し…。「生きるとは何か」を問う、現役の医師だからこそ描けた真摯な母娘の物語。『小説トリッパー』掲載を加筆・修正。

日本経済新聞 2023/02/04、朝日新聞 2023/02/18

2023:1./ 178p
978-4-02-251884-2

¥1,760〔税込〕





藤井聡太はどこまで強くなるのか～名人への道～(講談社+α 新書 836-2C)

谷川 浩司 著
講談社

最年少名人記録は破られるのか。それとも、彼に勝つ棋士が現れるのか-。棋界における名人位の意味、過酷さを増す戦い、そのすべてを知るレジェンドが、さらに進化する藤井将棋に迫る。

日本経済新聞 2023/02/04、朝日新聞 2023/02/18

2023:1./ 220p
978-4-06-531040-3

¥990〔税込〕



9 78 40 65 31 04 03



完本中村吉右衛門

小玉祥子 著
朝日新聞出版

生き続ける命、ここにあり-。歌舞伎俳優・中村吉右衛門が、「二代目」として何を考え、どのような高みを目指していたかを、自身の言葉と間近で接した者たちの証言から探る。未公開のロングインタビューも掲載。

日本経済新聞 2023/02/11

2022:12./ 308p
978-4-02-251879-8

¥2,860〔税込〕



9 78 40 22 51 87 98



魏晋南北朝(講談社学術文庫)

川勝 義雄 著
講談社

秦漢と隋唐の巨大帝国に挟まれた四百年に及ぶ大分裂時代、専制君主なき群雄割拠の混迷の中から陶淵明、『文選』など壮大な文化は出現した。後世の中国の全ての面で多大な影響を残す〈華やかな暗黒時代〉。その爛熟してゆく「貴族制社会」の形成、変容、崩壊の変遷を詳細に読み解き、中国文明の構造と特質を浮き彫りにする。

日本経済新聞 2023/02/11

2003:5./ 493p
978-4-06-159595-8

¥1,617〔税込〕



9 78 40 61 59 59 58



新興国は世界を変えるか～29 カ国の経済・民主化・軍事行動～(中公新書 2734)

恒川恵市 著
中央公論新社

中国の海洋進出、ロシアのウクライナ侵攻...。力をつけた「新興国」は世界にどのような影響を与え、どこへ向かうのか。アジア、中南米、東欧など 29 カ国を新興国とし、経済成長、政治体制、軍事行動を分析する。

日本経済新聞 2023/02/11

2023:1./ 6p,244p
978-4-12-102734-4

¥946〔税込〕



9 78 41 21 02 73 44



ゲノム編集の世紀～「クリスパー革命」は人類をどこまで変えるのか～

ケヴィン・デイヴィス 著
早川書房

遺伝子疾患の根治、絶滅動物の復活、遺伝子編集を施された「クリスパーベビー」、そしてノーベル賞の栄光の影に消えた研究者...。あらゆる生命を改変できるゲノム編集技術「クリスパー」を手にした人類の光と影を克明に描く。

日本経済新聞 2023/02/11

2022:11./ 653p
978-4-15-210159-4

¥4,180〔税込〕



9 78 41 52 10 15 94



ネットワーク・エフェクト～事業とプロダクトに欠かせない強力で重要なフレームワーク～

アンドリュー・チェン 著
日経BP社

何千回も使われているのに、誰もその全貌を知らないネットワーク効果。テクノロジー業界の知識とコンセプトをネットワークのライフサイクルの初期、中期、終期というフレームワークでまとめ、事例とともに解説する。

日本経済新聞 2023/02/11

2022:11./ 408p,5p
978-4-296-00125-5

¥2,420〔税込〕



古典モノ語り

山本 淳子 著
笠間書院

争いの舞台装置「牛車」、言えない言葉を託した「扇」…。古典文学には人物の感情や場面を表現する印象的な“モノ”が数多く登場する。その“モノ”たちが負っている意味や思いについて考察する。

日本経済新聞 2023/02/11

2023:1./ 298p
978-4-305-70978-3

¥2,090〔税込〕



ぱっちり、朝ごはん～おいしい文藝～(河出文庫 ん 5-2)

小林 聡美／阿川 佐和子／東海林 さだお 著
河出書房新社

ごはん派？パン派？それとも麺派？阿川佐和子、池波正太郎、色川武大、角田光代、久住昌之、佐野洋子、万城目学、吉村昭らによる、個性あふれる朝食エッセイ全35篇を収録する。

日本経済新聞 2023/02/11

2023:2./ 216p
978-4-309-41942-8

¥880〔税込〕



基地はなぜ沖縄でなければいけないのか(筑摩選書 0241)

川名 晋史 著
筑摩書房

なぜ沖縄に基地が集中し続けるのか。膨大な資料と、長年の研究をもとに、沖縄への基地の集中と固定化の経緯を明らかにし、基地問題「解決」のための選択肢を示す。

日本経済新聞 2023/02/11

2022:11./ 238p
978-4-480-01759-8

¥1,760〔税込〕



TIME SMART～お金と時間の科学～

アシュリー・ウィランズ 著
東洋経済新報社

時間を手に入れて有意義に使っている状態=タイム・リッチになるための習慣など、ハーバード・ビジネススクールの心理学者が、健康で幸福になり、生産性が上がる時間戦略を解説する。書き込み式のワークシート等も収録。

日本経済新聞 2023/02/11

2021:7./ 16p,293p,34p
978-4-492-22400-7

¥1,760〔税込〕





新しい階級闘争～大都市エリートから民主主義を守る～

マイケル・リンド 著
東洋経済新報社

戦後実現した「民主的多元主義」の安定した政治は、1970年代に始まった新自由主義に基づく「上からの革命」の影響を受け、機能不全に陥った。国民統合が揺らぎ、分断が深刻化した米国で、どう分断を解消するかを論じる。

日本経済新聞 2023/02/11

2022:12./ 268p,23p
978-4-492-44471-9

¥2,200〔税込〕



リデザイン・ワーク 新しい働き方

リンダ・グラットン 著
東洋経済新報社

働く人を大切にできる職場にこそ、人は集まる。ロンドン・ビジネス・スクール経営学教授が、「仕事のあり方」「働く意味」「人生の豊かさ」の“リデザイン(再設計)”を描く。

日本経済新聞 2023/02/11

2022:10./ 369p
978-4-492-53460-1

¥2,090〔税込〕



書籍修繕という仕事～刻まれた記憶、思い出、物語の守り手として生きる～

ジェヨン 著
原書房

らくがきでいっぱいの絵本、何度もめくってバラバラになった辞書、祖母が何十年もつけてきた日記帳…。傷んだ本を直す書籍修繕家が、普段仕事をするうえで気をつけていることや感じたこと、印象に残ったエピソードなどを綴る。

日本経済新聞 2023/02/11

2022:12./ 232p 図版
48p
978-4-562-07243-9

¥2,200〔税込〕



茶壺(見て聞いてまねして楽しむ歌舞伎絵本)

中村 壱太郎 著
くもん出版

歌舞伎俳優が子どもたちにむけて、コメディ舞踊劇「茶壺」をわかりやすく書き直したお話に、歌舞伎の美しさを表現したイラストをつけた絵本。歌舞伎の解説・豆知識も掲載。音声を聞くためのシリアルコード付き。

日本経済新聞 2023/02/11

2022:11./ 32p
978-4-7743-3282-6

¥1,870〔税込〕



狐忠信(見て聞いてまねして楽しむ歌舞伎絵本)

中村 壱太郎 著
くもん出版

歌舞伎俳優が子どもたちにむけて、歌舞伎の名作「義経千本桜」をわかりやすく書き直したお話に、歌舞伎の美しさを表現したイラストをつけた絵本。歌舞伎の解説・豆知識も掲載。音声を聞くためのシリアルコード付き。

日本経済新聞 2023/02/11

2022:11./ 32p
978-4-7743-3283-3

¥1,870〔税込〕





ワークスタイル・アフターコロナ～「働きたいように働ける」社会へ～

松下慶太 著
イースト・プレス

コロナ禍を、ワークスタイルという「やっかいな問題」に向き合うチャンスに！居心地の良さこそが最大の企業価値になる。リモートワーク、ワーケーション、シェアオフィス…。多様化する職場と、幸せな働き方の未来を探る。

日本経済新聞 2023/02/11

2021:3./ 239p
978-4-7816-1964-4

¥1,540〔税込〕



ウクライナ・ショック 覚醒したヨーロッパの行方

三好範英 著
草思社

ロシアによる侵略以降、世界はすっかり変わってしまった。日本が置かれているのは、ウクライナ、ポーランド、ドイツのどの立場だろうか。ベルリン特派員を長く務めた著者が、ウクライナ戦争の実態と背景を描き出す。

日本経済新聞 2023/02/11

2022:12./ 307p,4p
978-4-7942-2622-8

¥2,200〔税込〕



越境学習入門～組織を強くする冒険人材の育て方～

石山 恒貴、伊達 洋駆 著
日本能率協会マネジメントセンター

越境学習によって得られる「冒険する力」が、「新しいこと」「変革」を成し遂げるうえでの原動力になる！企業がどうすれば冒険者を育て、その力を企業が前進する力にできるのかを、企業における越境学習の研究を通して著す。

日本経済新聞 2023/02/11

2022:3./ 255p
978-4-8207-2995-2

¥1,980〔税込〕



雑草ラジオ～狭くて自由なメディアで地域を変える、アマチュアたちの物語～

瀬戸義章 著
英治出版

アマチュア集団が作った「背負って運べるラジオ局」が、災害大国に広がり始めた！阪神・淡路大震災や熊本地震での体験から、開発・実装のドタバタまで、日本～インドネシアでの縦横無尽の挑戦を紹介する。

日本経済新聞 2023/02/11

2023:1./ 223p
978-4-86276-328-0

¥1,980〔税込〕



琉球切手を旅する～米軍施政下沖縄の二十七年～

与那原恵 著
中央公論新社

沖縄の美術家が描いた切手が、人々の「言葉」を運んでいた。米軍による占領、琉球政府発足、復帰運動を経て返還合意へ。激動の時代、琉球・沖縄の文化と自然を世界に伝えた切手を巡る物語。『中央公論』掲載に加筆し書籍化。

日本経済新聞 2023/02/11、東京・中日新聞 2023/02/19

2022:12./ 253p
978-4-12-005605-5

¥2,090〔税込〕





亜鉛の少年たち～アフガン帰還兵の証言～ 増補版

スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ 著
岩波書店

「国際友好の義務を果たす」という政府の方針でアフガニスタンへ送り出されたソ連の若者たちは、亜鉛の棺に納められて帰国し、生きて戻った者も鉛のような心を抱えて苦しんでいた…。帰還兵、戦没者の家族らの肉声を綴る。

日本経済新聞 2023/02/18

2022:6./ 7p,434p
978-4-00-061303-3

¥3,520〔税込〕



ブッデンブローク 家の人びと<上>(岩波文庫 赤 433-1)

トーマス・マン 著
岩波書店

「ある家族の没落」という副題が示すように、ドイツのブルジョア家庭の変遷を四代にわたって描く。単純で生への気迫に満ちた実業家の家庭が代を追うにつれ、芸術的、精神的なものに支配され、人々は繊細複雑になって遂には生への意志力をも失ってゆく。

日本経済新聞 2023/02/18

1969:9./ 357p
978-4-00-324331-2

¥1,012〔税込〕



ブッデンブローク 家の人びと<中>(岩波文庫 赤 433-2)

トーマス・マン 著
岩波書店

「ある家族の没落」という副題が示すように、ドイツのブルジョア家庭の変遷を四代にわたって描く。単純で生への気迫に満ちた実業家の家庭が代を追うにつれ、芸術的、精神的なものに支配され、人々は繊細複雑になって遂には生への意志力をも失ってゆく。

日本経済新聞 2023/02/18

1969:10./ 373p
978-4-00-324332-9

¥1,067〔税込〕



ブッデンブローク 家の人びと<下>(岩波文庫 赤 433-3)

トーマス・マン 著
岩波書店

「ある家族の没落」という副題が示すように、ドイツのブルジョア家庭の変遷を四代にわたって描く。単純で生への気迫に満ちた実業家の家庭が代を追うにつれ、芸術的、精神的なものに支配され、人々は繊細複雑になって遂には生への意志力をも失ってゆく。

日本経済新聞 2023/02/18

1969:11./ 367p
978-4-00-324333-6

¥1,067〔税込〕



クォーク～素粒子物理はどこまで進んできたか～ 第2版(ブルーボックス)

南部 陽一郎 著
講談社

物質の究極の構造とそれを支配する基本法則を探る素粒子物理学はどう発展してきたか。2008年にノーベル物理学賞受賞の著者が、トップクォーク発見後の視点から振り返り、将来を展望。

日本経済新聞 2023/02/18

1998:2./ 316p
978-4-06-257205-7

¥1,210〔税込〕





風の歌を聴け(講談社文庫)

村上 春樹 著
講談社

1970年の夏、海辺の街に帰省した<僕>は、友人の<鼠>とビールを飲み、介抱した女の子と親しくなって、退屈な時を送る。2人それぞれの愛の屈託をさりげなく受けとめてやるうちに、<僕>の夏はものうく、ほろ苦く過ぎさっていく。

日本経済新聞 2023/02/18

2004:9./ 160p
978-4-06-274870-4

¥594〔税込〕



ゲームが教える世界の論点(集英社新書 1149)

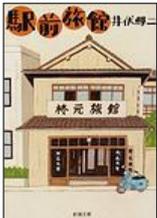
藤田 直哉 著
集英社

世界中で支持されているゲームは、様々な社会問題の解決策を示している。「ペルソナ5」「イースVIII」など人気ゲームの読解を通して、陰謀論や分断といった世界の重要論点を考察する。『IGN Japan』連載を元に書籍化。

日本経済新聞 2023/02/18

2023:1./ 221p
978-4-08-721249-5

¥990〔税込〕



駅前旅館 改版(新潮文庫)

井伏 鱒二 著
新潮社

日本経済新聞 2023/02/18

1960:12./ 219p
978-4-10-103405-8

¥572〔税込〕



幽霊〜或る幼年と青春の物語〜 改版(新潮文庫 き-4-2)

北 杜夫 著
新潮社

昆虫採集に興ずる少年の心をふとよぎる幼い日に去った母親のイメージ、美しい少女に寄せる思慕。過去の希望と不安が、敗戦前後の高校生の胸に甦る…。過去を見つめ、隠された幼児期の記憶を求めて深層意識の中に遡る。

日本経済新聞 2023/02/18

2014:2./ 272p
978-4-10-113102-3

¥572〔税込〕



森林に何が起きているのか〜気候変動が招く崩壊の連鎖〜(中公新書 2732)

吉川賢 著
中央公論新社

近年、温暖化の影響による森林の異変が世界中で観測されている。森林生態系のメカニズムから、日本の里山の持続可能な保全策まで、森林科学の知見を第一人者が解説し、実効的な気候変動対策を論じる。

日本経済新聞 2023/02/18

2022:12./ 3p,229p
978-4-12-102732-0

¥924〔税込〕





落下傘学長奮闘記～大学法人化の現場から～(中公新書ラクレ)

黒木 登志夫 著
中央公論新社

40年間研究だけをしてきた基礎医学者が、突然、地方国立大学の学長に。法人化の混乱、抵抗する教員、文科省の圧力、予算削減のなかで奮闘する落下傘学長からの、データを駆使した現場報告。

日本経済新聞 2023/02/18

2009:3./ 363p
978-4-12-150310-7

¥1,012〔税込〕



同志少女よ、敵を撃て

逢坂 冬馬 著
早川書房

独ソ戦が激化する1942年、母をドイツ軍に惨殺され、赤軍の女性兵士に救われた少女セラフィマは、復讐のため、訓練学校で一流の狙撃兵になることを決意する。訓練を重ねた彼女は、やがてスターリングラードの前線へ...

日本経済新聞 2023/02/18

2021:11./ 492p
978-4-15-210064-1

¥2,090〔税込〕



一日三秋

劉 震雲 著
早川書房

河南省延津には“花二娘”の言い伝えがある。かれこれ3千年以上生きていて、人の夢に現れ笑い話をせがむが、彼女を笑わせられない者は死んでしまうという。花二娘に運命を翻弄される延津人の物語から、ユーモアの本質を問う。

日本経済新聞 2023/02/18

2022:12./ 394p
978-4-15-210195-2

¥2,860〔税込〕



プライシングの技法

下 寛和 著
日経BP社

原料高、エネルギー価格の高騰...。逆風下でも利益を出す値付けの方法とは。値決めの悩みを解消し、堂々と値上げするための手法を科学的に解説。身近な値段の秘密からビジネスモデルの考え方、意思決定の方法までを網羅する。

日本経済新聞 2023/02/18

2022:12./ 237p
978-4-296-00136-1

¥1,980〔税込〕



戦争日記～鉛筆1本で描いたウクライナのある家族の日々～

オリガ・グレベンニク 著
河出書房新社

子どもたちの腕に名前と生年月日、連絡先を書いた。万が一、死んでしまっても、身元が分かるように...。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まってから地下生活をへて国外に脱出するまでの実体験を、文章と絵で綴った日記。

日本経済新聞 2023/02/18

2022:9./ 133p
978-4-309-20863-3

¥1,595〔税込〕





ウクライナから来た少女ズラータ、16歳の日記

ズラータ・イバシュコワ 著
世界文化社

昨日までマンガと小説が大好きな普通的女子高生だったズラータは、母が必死で工面してくれた16万円をもって戦火が広がる故郷ウクライナからあこがれの日本を目指し…。日本避難に運命をかけた140日間の少女の日記。

日本経済新聞 2023/02/18

2022:10./ 223p
978-4-418-22504-0

¥1,650〔税込〕



パワハラ上司を科学する(ちくま新書 1705)

津野 香奈美 著
筑摩書房

10年以上にわたってパワハラを研究し、科学的データを基に対策を実施してきた著者が、パワハラとは何か、なぜ起こるのか、パワハラ上司にならないためにはどうすればいいのかを、根拠となるデータとともに解説する。

日本経済新聞 2023/02/18

2023:1./ 286p
978-4-480-07534-5

¥990〔税込〕



チボー家の人々<1> 灰色のノート(白水Uブックス)

ロジェ・マルタン・デュ・ガール 著
白水社

日本経済新聞 2023/02/18

1984:3./ 203p
978-4-560-07038-3

¥935〔税込〕



クレムリンの魔術師

ジュリアーノ・ダ・エンポリ 著
白水社

彼は「クレムリンの魔術師」として知られていた元TV番組プロデューサー。ロシアのプロパガンダ戦略や、ウクライナとの戦争において、彼はどんな役割を担ったのか…。愛と権力をめぐる迫真のリアルポリティック小説。

日本経済新聞 2023/02/18

2022:12./ 270p
978-4-560-09468-6

¥3,190〔税込〕



阪神園芸甲子園の神整備(毎日文庫 か1-1)

金沢 健児 著
毎日新聞出版

悪天候にも重機の轍にも負けない、グラウンド整備の代名詞、阪神園芸。土や芝に対するこだわり、トンボかけや散水といった具体的な作業など、甲子園球場を整備するグラウンドキーパーの仕事を紹介する。

日本経済新聞 2023/02/18

2023:1./ 214p
978-4-620-21054-4

¥880〔税込〕





アジア「窓」紀行～上海からエルサレムまで～

田熊 隆樹 著
草思社

風土や文化に適応し、もっともその土地の特徴を形に表す「窓」。窓を見つめてアジアを隅々まで訪ねた、情緒と驚きにあふれる旅行記。窓研究所のウェブサイトの連載に加筆・修正、書き下ろしを加える。

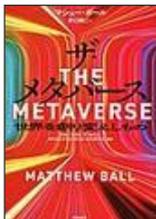
日本経済新聞 2023/02/18

2022:12./ 335p
978-4-7942-2612-9

¥2,420〔税込〕



9 78 4 7942 2612 9



ザ・メタバース～世界を創り変えしもの～

マシュー・ボール 著
飛鳥新社

「メタバース」という言葉はどこから来たのか、それを創り動かすにはなにが必要なのか。完全版メタバースが実現する時期や、その到来による各業界の変化などを解説。いまだ不完全なメタバースという概念を包括的に定義する。

日本経済新聞 2023/02/18

2022:11./ 407p,14p
978-4-86410-928-4

¥2,750〔税込〕



9 78 4 8641 10928 4



ウクライナ戦争日記～ロシアが攻めてきた日、すべてが変わってしまった。～

Stand With Ukraine Japan、左右社編集部 編
左右社

ロシアが攻めてきた日、すべてが変わってしまった-。占領下の惨めな生活、避難所に隠れ、爆弾や砲撃から延々と逃げまどう日々。不信感や怒り、落胆。戦争という非日常を生きるウクライナの24人のリアルを伝える戦争日記。

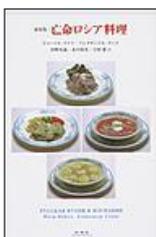
日本経済新聞 2023/02/18

2022:7./ 318p
978-4-86528-091-3

¥1,980〔税込〕



9 78 4 8652 8091 3



亡命ロシア料理

P.ワイリ、A.ゲニス、沼野 充義、北川 和美、守屋 愛 著
未知谷

ソ連から亡命してアメリカにやってきたロシア人の文芸批評家が、故郷の味を懐かしみ、本物のロシア料理の作り方を伝授。同時に、ロシアとアメリカの両者を視野に入れた文明批評を行う。

日本経済新聞 2023/02/18

2014:11./ 231p
978-4-89642-458-4

¥2,200〔税込〕



9 78 4 8964 2458 4



快樂の仏蘭西探偵小説

野崎六助 著
インスクリプト

作品構造と叙述コードの分析を踏まえた、通時性と原理論を併せもつフランス探偵小説論。文学と探偵小説、並行しつつも分岐した歴史の深層を跨いで、その固有性と全体像を提示する。フランス探偵小説・探偵映画ベスト 33 付き。

日本経済新聞 2023/02/18

2022:11./ 665p
978-4-900997-99-8

¥4,620〔税込〕



9 78 4 9009 9799 8



「能力」の生きづらさをほぐす

勅使川原 真衣 著

どく社

ときは 2037 年。急降下した上司の評価で病める息子を救うため、死んだはずの母さんがやってきた!? 生きづらさを生み出す能力社会の実態を、教育社会学と組織開発の視点でときほぐし、より良く生きる方法を模索する物語。

日本経済新聞 2023/02/18

2022:12./ 262p
978-4-910534-02-2

¥2,200 [税込]



スラッジ〜不合理をもたらすぬかるみ〜

キャス・R・サンスティーン 著

早川書房

ビザの申請や年金給付などの場面で、申請者にとって合理的な選択を阻むものが生じるのはなぜか。ナッジを世に広めた法学者が、理性的な意思決定を妨げる悪いナッジ = 「スラッジ」発生の仕組みと実態、削減方法を解説する。

日本経済新聞 2023/02/25

2023:1./ 156p
978-4-15-210204-1

¥2,420 [税込]



AI 2041〜人工知能が変える 20 年後の未来〜

カイフー・リー (李 開復) / チェン・チウファン (陳 楸帆) 著

文藝春秋

AI 医療、AI 保険、完全自動運転、没入型 VR、バーチャル AI 教師…。われわれは AI に降伏するのか? それとも、AI でよき未来をつくるのか? 10 のストーリーとテクノロジー解説で描く、20 年後の私たちの世界。

日本経済新聞 2023/02/25

2022:12./ 555p
978-4-16-391642-2

¥2,970 [税込]



詩の礫

和合 亮一 著

徳間書店

放射能が降っています。静かな夜です…。3月16日午前4時23分の被災後最初のメッセージから5月26日まで、福島在住詩人がツイッターで放った言葉・咆哮を収録。

日本経済新聞 2023/02/25

2011:6./ 263p
978-4-19-863193-2

¥1,540 [税込]



FDRの将軍たち〜ローズヴェルトの最高司令部はいかにしてアメリカを勝利に導いたか〜<上>

ジョナサン・W・ジョーダン 著

国書刊行会

パールハーバー攻撃により、孤立主義の眠りから覚めたアメリカ。ローズヴェルト大統領は、スティムソン陸軍長官、キング提督、マーシャル将軍に白羽の矢を立て…。ローズヴェルト大統領の軍事指導者たちの実像を活写する。

日本経済新聞 2023/02/25

2022:11./ 460p,45p
978-4-336-07278-8

¥4,180 [税込]





FDRの将軍たち～ローズヴェルトの最高司令部はいかにしてアメリカを勝利に導いたか～<下>

ジョナサン・W・ジョーダン 著

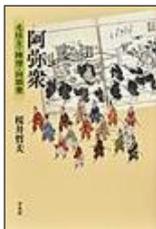
国書刊行会

ローズヴェルト、スティムソン、キング、マーシャル。異なる個性を持つ4人は、戦争を通じて国を導き、アメリカが前例のない影響力を持つ新時代を切り開いてゆき…。ローズヴェルト大統領の軍事指導者たちの実像を活写する。

日本経済新聞 2023/02/25

2022:11./ 409p,92p
978-4-336-07279-5

¥4,180〔税込〕



阿弥衆～毛坊主・陣僧・同朋衆～(平凡社選書 238)

桜井 哲夫 著

平凡社

有髪のまま死者を弔う百姓、戦場で通信・交渉に携わる僧、料亭文化史に大きな位置を占める塔頭群…。「～阿弥」を名のる人々は何者か？ 諸分野の知見を総合し、時宗に関わり深い「阿弥」の名をもつ存在の全体像に迫る。

日本経済新聞 2023/02/25

2023:1./ 278p
978-4-582-84238-8

¥4,180〔税込〕



鏡の男<上>(扶桑社ミステリー ケ10-9)

ラーシュ・ケブレル 著

扶桑社

5年前の誘拐事件で行方不明となった少女が、公園のジャングルジムに吊された状態で発見された。国家警察刑事ヨーナ・リンナは、警察内で唯一目撃者とみなす男マルティンに催眠療法を試みる。すると彼は途端に饒舌になり…。

日本経済新聞 2023/02/25

2023:2./ 397p
978-4-594-09228-3

¥1,210〔税込〕



鏡の男<下>(扶桑社ミステリー ケ10-10)

ラーシュ・ケブレル 著

扶桑社

捜査線上に浮かぶ謎の男。ヨーナは公園で吊されていた遺体の頭部に小さい烙印が押されているのを発見し、過去の事件との接点を見出す。催眠で得たマルティンの謎めく目撃証言と僅かな手がかりで事件を追うヨーナだったが…。

日本経済新聞 2023/02/25

2023:2./ 399p
978-4-594-09229-0

¥1,210〔税込〕



知らないと損をする!年金生活者定年退職者のためのかんたん確定申告<令和5年3月15日締切分>(FUSOSHA MOOK)

扶桑社

年金生活者・定年退職者に向け、確定申告書の記入方法をケースごとに解説。税金の用語や計算方法を図表を用いてわかりやすく説明し、節税対策もアドバイスする。記入の流れがわかる折込みの「確定申告書のまとめ方」付き。

日本経済新聞 2023/02/25

2022:10./ 103p
978-4-594-61939-8

¥1,210〔税込〕





古代ゲノムから見たサピエンス史(歴史文化ライブラリー 565)

太田 博樹 著
吉川弘文館

発掘されたネアンデルタール人の人骨のゲノム解析で明らかになった人類の進化を解説する。また、縄文人ゲノム解読で分かった系統など、日本の最新成果も紹介し今後を展望する。

日本経済新聞 2023/02/25

2023:2./ 7p,255p
978-4-642-05965-7

¥1,980 [税込]



医療費控除のすべてがわかる本<令和 5 年 3 月申告用>

藤本清一／税務研究会 編
税務研究会出版局

医療に関する支出でも控除の対象になる、ならないは意外と複雑。医療費控除に関するさまざまな疑問を、具体的な質疑応答で解りやすく説明する。令和 5 年 3 月申告用様式記載例を収録。

日本経済新聞 2023/02/25

2022:12./ 17p,424p
978-4-7931-2723-6

¥1,980 [税込]



死体解剖有資格者～法人類学者が見た生と死との距離～

スー・ブラック 著
草思社

骨片、爪、毛髪等の硬組織のみならず、軟組織付着の遺体の剖検を通じ、先端科学技法を駆使し死体を精査。故人がいかなる最期を迎えたかを見極める…。英国の法人類学者・解剖学者が綴る、ミステリー風回顧録。

日本経済新聞 2023/02/25

2023:1./ 585p
978-4-7942-2601-3

¥4,180 [税込]



自分でパパッと書ける確定申告<令和 5 年 3 月 15 日締切分>

翔泳社

「医療費が 10 万円超かかった」「仮想通貨/FX で利益が出た」「災害にあった」…。確定申告のしかたをケースごとに詳しく解説。ふるさと納税完全ガイド、基本用語集、申告書下書きシートなども収録。

日本経済新聞 2023/02/25

2022:10./ 10p,166p
978-4-7981-7749-6

¥1,518 [税込]



ジョゼフ・フーシェ～ある政治的人間の肖像～(岩波文庫 赤 437-4)

シュテファン・ツワイク 著
岩波書店

フランス革命期にはもっとも徹底した教会破壊者にして急進的共産主義者。王制復古に際してはキリスト教を信ずることのきわめて篤い反動的な警務大臣。フーシェは、その辣腕をふるって、裏切り、変節を重ね、陰謀をめぐらし、この大変動期をたくみに泳ぎきる。

毎日新聞 2023/02/04

1979:3./ 428p
978-4-00-324374-9

¥1,122 [税込]





死ぬまでに知っておきたい日本美術(集英社新書 1142)

山口 桂 著
集英社

絵画、掛軸、彫刻、陶芸、漆芸...。世界的オークション会社クリスティーズの日本支社長が、豪華絢爛な屏風から知る人ぞ知る現代美術まで、日本美術の真髄を紹介する。

毎日新聞 2023/02/04

2022:11./ 252p
978-4-08-721242-6

¥1,320〔税込〕



敷島の道に架ける橋〜英語で伝えたい明治天皇百首〜

ハロルド・ライト 編
中央公論新社

生涯にわたり、およそ十万首の御製を詠まれた明治天皇。国柄への思い、国民の安寧への祈り、四季の移ろい、動植物たちへのまなざし、海外との交わりなどを詠んだ百首を精選し、対訳形式で紹介する。

毎日新聞 2023/02/04

2022:8./ 257p,52p 図版
5 枚

978-4-12-005554-6

¥2,200〔税込〕



トーキングブルースをつくった男

元永 知宏／株式会社古？プロジェクト 著
河出書房新社

ステージに立つのは古館伊知郎ただひとり。マイク一本で観客に挑む伝説のトークライブ「トーキングブルース」を古館とともに作りあげてきた社長・佐藤孝。二人の異才の半生をたどり、稀代の語り部の本当の顔に迫る。

毎日新聞 2023/02/04

2022:11./ 271p
978-4-309-25690-0

¥1,980〔税込〕



インディペンデントの栄光〜ユーロスペースから世界へ〜

高崎 俊夫 編
堀越 謙三 著
筑摩書房

ユーロスペースの設立、アッバス・キアロスタミとの出会い、東京藝大大学院映像研究科の立ち上げ...。国内外で活躍する堀越謙三が、半生を振り返りながら、その戦略や後進育成など、インディーズと歩んだすべてを語る。

毎日新聞 2023/02/04

2022:9./ 354p
978-4-480-81565-1

¥2,200〔税込〕



絵画とタイトル〜その近くて遠い関係〜

ルース・バーナード・イーゼル 著
みすず書房

初めてタイトルを自らつけたダヴィッド、クールベ「画家のアトリエ」の長い副題にこめられた意味...。ルネサンスから現代まで、つねにせめぎあってきた絵画とタイトルのスリリングな関係を追う。

毎日新聞 2023/02/04

2022:12./ 3p,272p,67p
図版 16p

978-4-622-09556-9

¥8,250〔税込〕





ナマケモノ教授のムダのてつがく～「役に立つ」を超える生き方とは～

辻信一 著
さくら舎

「ムダ」と捨てたものは本当に「ムダ」なのか。そもそも「ムダ」で何が悪いのか。 「ムダ」を切り口に、暮らし、労働、経済、環境、テクノロジー、遊び、教育、人間関係などについて思索する。

毎日新聞 2023/02/04

2023:1./ 242p
978-4-86581-373-9

¥1,760〔税込〕



アイヌモシリ オオカミが見た北海道

水越 武 著
北海道新聞社

北の島の原始を追い求めて。山岳から大地の成り立ち、天空まで、北海道の自然をこれまでにない深さと広がりでとらえた大型ビジュアルブック。本体は背表紙なし糸綴じ。

毎日新聞 2023/02/04

2022:11./ 203p
978-4-86721-079-6

¥6,050〔税込〕



1日が長いと感じられる日が、時々でもあるといい

小沼理 著
タバブックス

新型コロナウイルス、東京オリンピック、元首相銃撃事件。著しい社会変化があった3度の夏、それでも生活は続いていく。迷い、怒り、喜び、苦しみ、考え、先へ向かう、ゲイのフリーランスライターが綴った3年間の日記。

毎日新聞 2023/02/04

2022:10./ 268p
978-4-907053-57-4

¥1,980〔税込〕



樋口一葉赤貧日記

伊藤氏貴 著
中央公論新社

貧乏なのに、紙幣の顔。生まれは裕福、晩年は借金三昧…。24歳で貧苦の内にこの世を去った樋口一葉は、いくら稼ぎ、いくら借り、何を買い、何を思ったのか？ 金銭事情を通して、その人物と作品とを繙く。

毎日新聞 2023/02/04、読売新聞 2023/02/19

2022:11./ 329p
978-4-12-005598-0

¥2,420〔税込〕



ヒエログリフを解け～ロゼッタストーンに挑んだ英仏ふたりの天才と究極の解読レース～

エドワード・ドルニック 著
東京創元社

1000年以上、誰も読むことができなかった古代エジプトの謎の文字“ヒエログリフ”。イギリスとフランスのふたりの天才学者が解読レースに名乗りをあげた。国の威信がかかった壮大な解読劇を新たな視点でスリリングに描く。

毎日新聞 2023/02/04、読売新聞 2023/02/19

2023:1./ 350p,10p
978-4-488-00397-5

¥2,970〔税込〕





証し〜日本のキリスト者〜

最相 葉月 著

KADOKAWA

なぜ、あなたは神を信じるのか。自然災害や戦争、病のような不条理に直面してもなお、信仰はゆるぎないものであったか…。日本全国の教会を訪ね、キリスト教の信者135人にインタビュー。神と共に生きる彼らの半生を伝える。

毎日新聞 2023/02/04、日本経済新聞 2023/02/18

2022:12./ 1094p
978-4-04-601900-4

¥3,498〔税込〕



9 78 40 46 01 900 4



マザーツリー〜森に隠された「知性」をめぐる冒険〜

スザンヌ・シマード 著

ダイヤモンド社

森林は「インターネット」であり、菌類がつくる「巨大な脳」だった。木々をつなぐハブとなり、次世代を育む「マザーツリー」の驚くべき機能とは？ 気候変動が注目される今、自然の中の「秘められた知性」に耳を傾ける一冊。

毎日新聞 2023/02/04、日本経済新聞 2023/02/18

2023:1./ 573p 図版 16p

978-4-478-10700-3

¥2,420〔税込〕



9 78 44 78 10 700 3



松雪先生は空を飛んだ<上>

白石 一文 著

KADOKAWA

スーパーの惣菜部の新入社員・銚子太郎は、発注ミスでベテランパート久世さんの名案に救われる。久世さんと仲良くなった太郎は、ある日、屋根から降りられなくなった猫を助けるために、空中を飛行する久世さんを目撃して…。

毎日新聞 2023/02/05

2023:1./ 364p

978-4-04-113223-4

¥1,980〔税込〕



9 78 40 41 13 223 4



松雪先生は空を飛んだ<下>

白石 一文 著

KADOKAWA

既婚者の子供を身ごもった糸杉綾音。九死に一生を得てから人が変わってしまった高岡泰成。それぞれの人生に見え隠れする「空を飛ぶ人間」の存在。空を飛ぶ彼らには「私塾で松雪先生の最終講話を受けた」という共通点が…。

毎日新聞 2023/02/05

2023:1./ 358p

978-4-04-113323-1

¥1,980〔税込〕



9 78 40 41 13 323 1



なんとかしなくちゃ。<青雲編> 1970-1993

恩田 陸 著

文藝春秋

大阪の海産物問屋の息子を父に、東京の老舗和菓子屋の娘を母に持つ、梯結子。彼女は、幼い頃からキモチワルイ状況をそのままにはできなくて…。結子の「問題解決とその調達人生」を描く。『週刊文春』連載を単行本化。

毎日新聞 2023/02/05

2022:11./ 371p

978-4-16-391619-4

¥1,980〔税込〕



9 78 41 63 91 619 4



あつまる細胞～体づくりの謎～(岩波科学ライブラリー 316)

竹市 雅俊 著
岩波書店

体をつくるためにどうやって細胞が集まるのか。素朴な疑問にはじまり、著者はついに細胞間接着分子「カドヘリン」を突き止め、体づくりのさらなる深みへ。絶え間ない謎解きのプロセスを緻密に追う。

毎日新聞 2023/02/11

2023:1./ 10p,160p,3p
978-4-00-029716-5

¥1,870〔税込〕



砂漠と異人たち

宇野常寛 著
朝日新聞出版

村上春樹、ハンナ・アーレント、コリン・ウィルソン、吉本隆明、そしてアラビアのロレンス。20世紀を速く、タフに走り抜けた先人たちの達成と挫折から、21世紀に望まれる、新たな主体像を模索する。

毎日新聞 2023/02/11

2022:10./ 326p
978-4-02-251840-8

¥2,090〔税込〕



おうち性教育はじめます<思春期と家族編>(MF comic essay)

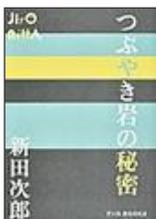
フクチ マミ/村瀬 幸浩 著
KADOKAWA

主に10～18歳の子どもの持つ家庭向けの性教育の本。思春期の子どもに訪れる男女の心と体の変化、暴力や性加害についてマンガで解説。家庭での声かけや、接し方がわかる。

毎日新聞 2023/02/11

2022:12./ 269p
978-4-04-681664-1

¥1,430〔税込〕



つぶやき岩の秘密(P+D BOOKS)

新田 次郎 著
小学館

海辺の町に暮らす小学6年生の三浦紫郎は、担任教師たちの力を借りながら、戦時中、岬に掘られた地下要塞に隠されていると噂される金塊と、両親の死の謎に挑み…。NHKでドラマ化もされたジュブナイル冒険小説の名作。

毎日新聞 2023/02/11

2022:10./ 187p
978-4-09-352449-0

¥660〔税込〕



安倍晋三回顧録

安倍晋三/橋本五郎/尾山宏 著
中央公論新社

一次政権の崩壊後に確信したこと、米中露との駆け引き、乱高下する支持率…。安倍晋三が「孤独」「決断」「暗闘」を語る。2020年10月～21年10月に計18回、36時間にわたって行われた未公開インタビューを書籍化。

毎日新聞 2023/02/11

2023:2./ 472p
978-4-12-005634-5

¥1,980〔税込〕





僕は珈琲

片岡義男 著
光文社

初体験モーニング・サービス、珈琲についての映画、刑事コロンボと珈琲…。シニア世代、サブカル愛好者にはたまらない、珈琲にまつわる 52 篇の書き下ろしエッセイと短篇小说 1 篇を収録。

毎日新聞 2023/02/11

2023:1./ 267p
978-4-334-95358-4

¥1,980〔税込〕



遠きにおいて、ウルは遅れるだろう(エクス・リブリス)

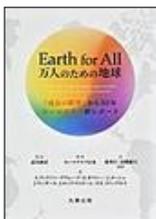
ペ・スア 著
白水社

存在を規定する記憶をすべて失った女性が、意識の底にある感覚を浮上させ自分が何者であるのかを夢幻的に探っていく 3 つの物語を描く。人間の本質を体感する、世界と自己認識の新しい文学。

毎日新聞 2023/02/11

2023:1./ 211p
978-4-560-09079-4

¥2,200〔税込〕



Earth for All 万人のための地球〜『成長の限界』から 50 年ローマクラブ新レポート〜

Sandrine Dixson-Declève/Owen Gaffney/Jayati Ghosh/Jorgen Randers/Johan Rockström/Per Espen Stoknes 著
丸善出版

貧困、不平等、女性のエンパワメント、食料、エネルギーに関する 5 つの方向転換の必要性を訴え、ウェルビーイング経済、普遍的基礎配当、社会的緊張の緩和など、新たなシステム的アプローチを提示する。

毎日新聞 2023/02/11

2022:11./ 20p,215p
978-4-621-30767-0

¥2,640〔税込〕



カール・マルクス〜未来のプロジェクトを読む〜

植村 邦彦 著
新泉社

格差と貧困の拡大、疎外労働の拡大…。「資本主義の矛盾」の深化は、改めてカール・マルクスを歴史の表舞台に押し出した。現代的な視野からマルクスを再読し、未来のプロジェクトを読み取る。

毎日新聞 2023/02/11

2022:10./ 317p
978-4-7877-2205-8

¥2,970〔税込〕



たまふりの人類学

石井美保 著
青土社

ガーナの村の精霊、インドのトラ保護区、京都の借り暮らし、東北の津波跡、感染症と禁忌、ウクライナの国境、日本兵の面影と記憶…。一回性と偶然性に満ちた人間の生の営みを書き記す 22 篇を収録。

毎日新聞 2023/02/11

2022:11./ 270p
978-4-7917-7505-7

¥2,310〔税込〕





曙食堂

東野光生 著
作品社

戦災によって語り難い悲運を甘受せねばならなかったひとりの帰国留学生・深山千蔵。彼が戦後まもなく引き始めた一台の屋台車から、鎮魂の物語が始まり…。昭和の心を描いた、書き下ろし長篇小説。

毎日新聞 2023/02/11

2022:11./ 302p
978-4-86182-938-3

¥1,980〔税込〕



創造的破壊の力～資本主義を改革する 22 世紀の国富論～

フィリップ・アギヨン／セリーヌ・アントニン／サイモン・ブネル 著
東洋経済新報社

持続的で平等な成長に向けて創造的破壊を舵取りするには。創造的破壊が雇用を破壊し、健康や幸福に及ぼす負の影響を抑えるには。資本主義を適切に運営する知見が満載の連続講義を書籍化。

毎日新聞 2023/02/11、日本経済新聞 2023/02/18

2022:12./ 16p,436p,33p
978-4-492-39671-1

¥4,620〔税込〕



おばあちゃんは猫でテーブルを拭きながら言った～世界ことわざ紀行～

金井 真紀 著
岩波書店

おばあちゃんが猫でテーブルを拭く？ ヒョウのしっぽをつかむ？ 風を食べる？ マオリ語、バスク語、ズールー語、台湾語など、世界 36 の言語の心が喜ぶことわざを、イラストとともに紹介する。

毎日新聞 2023/02/18

2022:12./ 79p
978-4-00-061573-0

¥1,980〔税込〕



今日のミトロジー(講談社選書メチエ le livre)

中沢 新一 著
講談社

ウルトラマンの正義、古墳と宝塚歌劇団、ウクライナの戦争、渋谷のハロウィン…。21 世紀の今日、日々起こる社会現象に、一目盛り 100 年の物差しをあてて、その深層に潜む神話的思考を剔出する。『週刊現代』連載を書籍化。

毎日新聞 2023/02/18

2023:1./ 260p
978-4-06-530592-8

¥2,420〔税込〕



100万回の言い訳(新潮文庫)

唯川 恵 著
新潮社

離れて、恋をして、再び問う夫婦の意味。結婚に悩めるあなたの胸に、静かな波紋を呼び起こす長篇小説。

毎日新聞 2023/02/18

2006:6./ 512p
978-4-10-133429-5

¥825〔税込〕





ネイティヴ・サン～アメリカの息子～(新潮文庫 ラ-20-1)

リチャード・ライト 著
新潮社

1930年代、大恐慌下のシカゴ。アフリカ系の貧しい青年ビッガー・トマスは、白人女性を誤って殺害してしまう。発覚を恐れて首を斬り、遺体を暖房炉に押し込んだその時、彼の運命が激しく変転する逃走劇が始まった。

毎日新聞 2023/02/18

2023:1./ 786p
978-4-10-240261-0

¥1,210 [税込]



木挽町のあだ討ち

永井 紗耶子 著
新潮社

雪の降る夜、芝居小屋のすぐそばで、美しい若衆によるみごとな仇討ちが成し遂げられた。2年後、ある若侍が大事件の顛末を聞きたいと木挽町を訪れる。芝居者たちの話から炙り出される真相は…。『小説新潮』掲載を書籍化。

毎日新聞 2023/02/18

2023:1./ 267p
978-4-10-352023-8

¥1,870 [税込]



シンボル化の政治学～政治コミュニケーション研究の構成主義的展開～

烏谷 昌幸 著
新曜社

共通の認識や感情はいかにして集団の中から創出され、政治的な効力を発揮するのか。シンボル論にあらためて光をあて、応用することで、政治コミュニケーション研究を基礎付け直し、新たな展開へと導く。

毎日新聞 2023/02/18

2022:10./ 15p,309p
978-4-7885-1784-4

¥3,520 [税込]



あしたの旅～世界旅行の参考書～

神沼 克伊 著
ロギカ書房

少しの努力とちょっとした心づかいがあれば、質の高い旅ができる。個人旅行、団体旅行(ツアー)、世界遺産、クルーズ…。地球物理学者が自身の体験をもとに、役立つ情報を交えて外国への旅を案内する。

毎日新聞 2023/02/18

2022:12./ 10p,295p
978-4-909090-87-4

¥2,420 [税込]



闘う舞踊団

金森穰 著
夕書房

17歳で渡欧、巨匠ベジャールらの寵愛を受けた舞踊家が日本で選んだのは、茨の道で。新潟で日本初の劇場専属舞踊団 Noism Company Niigata を設立、踊り、創り、率いてきた金森穰が 18年の軌跡を綴る。

毎日新聞 2023/02/18

2023:2./ 260p
978-4-909179-09-8

¥2,200 [税込]





女たちの沈黙

パット・バーカー 著

早川書房

トロイア戦争、最後の年。敗戦により敵軍に囚われ、戦利品として男たちの手に渡った女たちに与えられた選択肢は、服従か死か。西洋文学の起源にある暴力へ遡り、抑圧された者たちの声を高らかに響き渡らせる歴史小説。

毎日新聞 2023/02/18、朝日新聞 2023/02/25

2023:1./ 457p
978-4-15-210198-3

¥3,960〔税込〕



武器としての国際人権～日本の貧困・報道・差別～(集英社新書 1146)

藤田 早苗 著

集英社

コロナで拡大した貧困問題、損なわれ続ける報道の自由、なくなならない女性の差別や入管の問題…。人権を保障する義務を政府に守らせるには。国際人権機関を使って日本の問題に取り組む第一人者が、実例を挙げながらひもとく。

毎日新聞 2023/02/18、東京・中日新聞 2023/02/19

2022:12./ 317p
978-4-08-721246-4

¥1,100〔税込〕



力と交換様式

柄谷 行人 著

岩波書店

戦争と恐慌の危機を絶えず生み出す資本主義の構造と力、呪力、権力、資本の力が結合した資本=ネーション=国家を揚棄する「力」。交換様式から生まれる「力」を軸に人類史の歩みを再考し、柄谷行人の全思想体系の核心を示す。

毎日新聞 2023/02/25

2022:10./ 11p,416p
978-4-00-061559-4

¥3,850〔税込〕



ナジャ(岩波文庫 赤 590-2)

アンドレ・ブルトン 著

岩波書店

実際に出会った人物、おこった出来事、発せられた言葉を、克明に記録するというこの新しい「小説」は発表当初より賛辞にかこまれ、35年後、「著者による全面改訂版」としてふたたび世に送り出された。

毎日新聞 2023/02/25

2003:7./ 345p
978-4-00-325902-3

¥1,012〔税込〕



世界史の構造(岩波現代文庫)

柄谷 行人 著

岩波書店

この世界を、どう変えるのか。世界史を交換様式の観点から根本的にとらえ直し、人類社会の秘められた次元を浮かび上がらせる。未来に対する想像力と実践の領域を切り開く、著者の思索の到達点。英語版に基づいて改訂。

毎日新聞 2023/02/25

2015:1./ 23p,543p
978-4-00-600323-4

¥1,540〔税込〕





国商～最後のフィクサー葛西敬之～

森 功 著
講談社

国鉄分割民営化で革マルと手を組み、右派・日本会議の黒幕として安倍晋三を裏で操ったJR東海の「総帥」葛西敬之。巨大広告主ゆえに週刊誌ですら触れられなかった、その知られざる素顔に迫る。

毎日新聞 2023/02/25

2022:12./ 313p
978-4-06-524127-1

¥1,980〔税込〕



作家の証言～四畳半襖の下張裁判～ 完全版

丸谷才一 編
中央公論新社

猥褻文書摘発事件に井上ひさし、吉行淳之介、開高健ら作家が集結。真摯かつユーモラスな庄巻の証言集に、発禁とされた短篇「四畳半襖の下張」、書き下ろし解説を併録し復刊。

毎日新聞 2023/02/25

2023:1./ 477p
978-4-12-005624-6

¥3,960〔税込〕



〜銀牙少年伝説〜ドッグデイズ〜 ロクとボクが一番熱かった日々〜<1>(ニチブンコミックス)

高橋 よしひろ 著
日本文芸社

時は昭和35年、雪深い奥羽の山村で、その年小学校に入学するボク＝オットは、大自然と動物たち、家族に囲まれ、貧しいながらも豊穡な日々を夢中になって生きていた。著者・高橋よしひろの追憶が織りなす「昭和奥羽少年物語」、待望の単行本化!

毎日新聞 2023/02/25

2023:1./ 176p
978-4-537-14598-4

¥792〔税込〕



胡適文選<1>(東洋文庫 905)

胡 適 著
平凡社

中国の新文化運動の指導者の一人、胡適が、自身の思想と学問方法を最もよく理解できる文章を自選。1は、思想の哲学的基礎をはじめ、人生観や中国と西洋の文化を論じたものなどを収録。

毎日新聞 2023/02/25

2021:9./ 350p
978-4-582-80905-3

¥3,740〔税込〕



遊びは勉強友だちは先生〜「ズッコケ三人組」の作家・那須正幹大研究〜

藤田 のぼる／宮川 健郎／津久井 恵／ポプラ社編集部 編
ポプラ社

「ズッコケ三人組」をはじめとする多くの作品を書き、2021年に亡くなった児童文学作家、那須正幹。彼が遺したことばと作品に耳を傾け、現代の視点で読み解くとともに、さまざまな書き手が思いを綴る。

毎日新聞 2023/02/25

2022:11./ 221p
978-4-591-17546-0

¥2,970〔税込〕





胡適 政治・学問論集

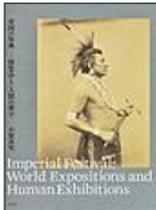
佐藤 公彦 編
汲古書院

「文学改良芻議」や哲学論といった初期の重要な文章から、最後期の総括的な中国文化史論まで、政治時局論と思想学問論を中心に収録。胡適が陳独秀らと推進した新文学運動の根幹と、それからを読む。

毎日新聞 2023/02/25

2022:11./ 9p,407p,4p
978-4-7629-6722-1

¥5,280〔税込〕



帝国の祭典～博覧会と<人間の展示>～

小原真史 著
水声社

人々は新たに出会った他者をどのように展示し、世界を認識しようとしたのか。非西洋の集落をまるごと再現した<ネイティブ・ヴィレッジ>など、膨大な博覧会資料コレクションから、見る事/見せることをめぐる欲望を問う。

毎日新聞 2023/02/25

2022:10./ 119p
978-4-8010-0661-4

¥3,300〔税込〕



共和国の美術～フランス美術史編纂と保守/学芸員の時代～

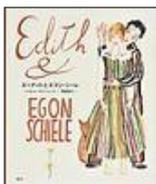
藤原 貞朗 著
名古屋大学出版会

戦争に向かう危機の時代に、中世宗教美術からかつての前衛までを包摂するナショナルな歴史像が、刷新された美術館を舞台に創られていく。その過程を、担い手たる学芸員=「保守する人」とともに描き、芸術の歴史性を問い直す。

毎日新聞 2023/02/25

2023:2./ 10p,351p,91p
978-4-8158-1110-5

¥6,930〔税込〕



エーディットとエゴン・シーレ

ハリエット・ヴァン・レーク 著
朔北社

エゴン・シーレは、目にするものを全て絵にしたかった。はためくスカートや、やわらかなブラウスに身を包むエーディットも。オランダの美術館が所有する唯一のエゴン・シーレ作品「エーディットの肖像」から紡ぎ出された物語。

毎日新聞 2023/02/25

2023:1./ 25p
978-4-86085-141-5

¥1,650〔税込〕



耳の叔母

村田喜代子 著
書肆侃侃房

短編はコロコロと手の上で転がしながら考える。うまく芽がでてすくすく伸びると、やがてひとつの「話」がひらく。芥川賞作家・村田喜代子の選りすぐりの8編を収めた、美とおののきの短編アンソロジー。

毎日新聞 2023/02/25

2022:10./ 237p
978-4-86385-547-2

¥1,870〔税込〕





未完のユートピア～新生・新しき村のために～

前田速夫 著

富山房インターナショナル

武者小路実篤が提唱し、創設された「新しき村」。その百年の歴史を言祝い、「日々新しき村の会」を組織して再生に着手した著者による、ユートピア共同体の明日を切り拓き、日本を、世界を、破滅から救う実践的な<思耕>の書。

毎日新聞 2023/02/25

2022:12./ 272p
978-4-86600-098-5

¥3,080〔税込〕



台湾書店百年の物語～書店から見える台湾～

台湾独立書店文化協会 著

エイチアンドエスカンパニー

書店と社会は相互に影響し合いながら変化していく。日本統治時代の1900年代から2000年代まで、各年代の台湾の代表的な書店を取り上げ、台湾文化を紐解く。

毎日新聞 2023/02/25

2022:9./ 255p
978-4-9907596-9-8

¥2,420〔税込〕

